



Nissan Chemical
CORPORATION

未来のための、はじめてをつくる。

2025年3月期 決算説明会

説明者 大門秀樹(取締役副社長CFO)

2025年5月15日



Contents

01

2024年度通期 連結決算報告

P3

02

2025年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P16

04

Vista2027 Stage I、Stage II 概要

P44

05

ESGトピックス

P49

06

参考資料

P54

Contents

01	2024年度通期 連結決算報告	P3
02	2025年度通期 業績予想	P8
03	セグメント概況	P16
04	Vista2027 Stage I、Stage II 概要	P44
05	ESGトピックス	P49
06	参考資料	P54

下期

前年同期比

- 売上高は122億円増収(+10%)
- 営業利益は44億円増益(+18%)
- 純利益は40億円増益(+21%)

通期

前年同期比

- 売上高は247億円増収(+11%)
- 営業利益は86億円増益(+18%)
- 純利益は50億円増益(+13%)
- **営業利益、経常利益、純利益で過去最高益を更新**
- ROEは18.7%(+1.6pt)

通期

業績予想比

(2025年2月発表予想との比較)

- 売上高は38億円上ぶれ
- 営業利益は18億円上ぶれ
- 純利益は21億円上ぶれ

株主還元

- 通期配当 174円(前年比10円増配)
- 自己株式取得 115億円完了(2.3百万株)
- 配当性向 55.5%(中計目標55%)、総還元性向 82.0%(同75%)

2024年度通期決算サマリー 前年同期比

(億円)

	2023年度 実績					2024年度 実績					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	1,057	496	714	1,210	2,267	1,182	566	766	1,332	2,514	+125 (+12%)	+70 (+14%)	+52 (+7%)	+122 (+10%)	+247 (+11%)
営業利益	241	93	148	241	482	283	128	157	285	568	+42 (+18%)	+35 (+36%)	+9 (+7%)	+44 (+18%)	+86 (+18%)
営業外損益	21	-5	18	13	34	-4	26	-10	16	12	-25	+31	-28	+3	-22
為替差損益	19	-8	11	3	22	-8	18	-12	6	-2	-27	+26	-23	+3	-24
経常利益	262	88	166	254	516	279	154	147	301	580	+17 (+7%)	+66 (+74%)	-19 (-11%)	+47 (+18%)	+64 (+12%)
特別損益	6	0	-4	-4	2	8	0	7	7	15	+2	0	+11	+11	+13
純利益※1	195	65	120	185	380	205	112	113	225	430	+10 (+5%)	+47 (+73%)	-7 (-6%)	+40 (+21%)	+50 (+13%)
EBITDA※2	300	129	191	320	620	345	167	200	367	712	+45	+38	+9	+47	+92
EPS(円/株)	139.55	46.47	86.80	133.27	272.82	148.78	81.49	82.99	164.48	313.26	+9.23	+35.02	-3.81	+31.21	+40.44
配当(円/株)	70	-	-	94	164	70	-	-	104	174	0	-	-	+10	+10
配当性向(%)	-	-	-	-	60.1%	-	-	-	-	55.5%	-	-	-	-	-4.6pt
配当総額	98	-	-	130	228	96	-	-	142	238	-2	-	-	+12	+10
売上高営業利益率	22.8%	18.8%	20.7%	19.9%	21.3%	24.0%	22.5%	20.6%	21.4%	22.6%	+1.2pt	+3.7pt	-0.1pt	+1.5pt	+1.3pt
ROE	-	-	-	-	17.1%	-	-	-	-	18.7%	-	-	-	-	+1.6pt
為替レート(円/ドル)	141	148	149	148	145	153	152	153	152	153	-	-	-	-	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す ※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

2024年度決算通期サマリー 業績予想比

(億円)

	2024年度 予想 (2025年2月発表)			2024年度 実績			業績予想比
	1-3Q	4Q	年間	1-3Q	4Q	年間	4Q・年間
売上高	1,748	728	2,476	1,748	766	2,514	+38
営業利益	411	139	550	411	157	568	+18
営業外損益	22	-13	9	22	-10	12	+3
為替差損益	10	-15	-5	10	-12	-2	+3
経常利益	433	126	559	433	147	580	+21
特別損益	8	6	14	8	7	15	+1
純利益※1	317	92	409	317	113	430	+21
EBITDA※2	512	182	694	512	200	712	+18
EPS(円/株)	230.27	66.98	297.25	230.27	82.99	313.26	+16.01
配当(円/株)	70	-	164	70	-	174	+10
配当性向(%)	-	-	55.2%	-	-	55.5%	+0.3pt
配当総額	96	-	225	96	-	238	+13
売上高営業利益率	23.5%	19.1%	22.2%	23.5%	20.6%	22.6%	-
ROE	-	-	17.7%	-	-	18.7%	+1.0pt
為替レート(円/ドル)	153	150	152	153	153	153	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す ※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

下期

	2024年度 実績	2023年度 実績	前年同期比	業績予想(2025年2月発表)	業績予想比
	285 億円	241 億円	+44 億円(+18%)	267 億円	+18 億円
化学品	前年同期比 +5億円	環境化学品や尿素・アドブルー®等の増収により増益			
	業績予想比 1億円上ぶれ	売上高下ぶれも、固定費等※1下ぶれ(増益要因)により利益上ぶれ			
機能性材料	前年同期比 +32億円	ディスプレイ・半導体・無機増収により増益			
	業績予想比 7億円上ぶれ	固定費等上ぶれ(減益要因)も、ディスプレイ・半導体・無機の売上高上ぶれにより利益上ぶれ			
農業化学品	前年同期比 -4億円	パーミット等の売上高増収も、固定費等増加により減益			
	業績予想比 1億円下ぶれ	売上高予想通りも、固定費等上ぶれ(減益要因)により利益下ぶれ			
ヘルスケア	前年同期比 -4億円	売上高横ばいも、固定費等増加により減益			
	業績予想比 4億円下ぶれ	ファインテック下ぶれにより利益下ぶれ			

通期

	2024年度 実績	2023年度 実績	前年同期比
	568 億円	482 億円	+86 億円(+18%)
化学品	前年同期比 +2億円	環境化学品・高純度硫酸等の増収により増益	
機能性材料	前年同期比 +65億円	ディスプレイ・半導体・無機増収により増益	
農業化学品	前年同期比 +22億円	ライメイ・グレーシア・フルララネルの増収により増益	
ヘルスケア	前年同期比 -9億円	リバロ減収に加え、固定費等増加により減益	

※1 固定費等には在庫変動影響を含む

Contents

01

2024年度通期 連結決算報告

P3

02

2025年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P16

04

Vista2027 Stage I、Stage II 概要

P44

05

ESGトピックス

P49

06

参考資料

P54

2025年度通期業績予想

※米国関税の直接的な影響は限定的、
間接的な影響は合理的算定が困難のため織り込まず

上期	前年同期比
----	-------

- 売上高は37億円増収(+3%)
- 営業利益は横ばい
- 純利益は1億円増益(0%) (為替差損益(営業外損益)6億円減益※1)

通期	前年同期比
----	-------

- 売上高は108億円増収(+4%)
- 営業利益は8億円増益(+1%)
- 純利益は1億円増益(0%) (為替差損益(営業外損益)12億円減益※1)
- ROE予想は18.1%

※1 p12参照

株主還元予想

- 中計目標に基づき、総還元性向目標は75%、配当性向目標は55%
- 自己株式取得は合計105億円を予定
(15億円は25年4月に取得終了、90億円は2025年5月～2026年3月に取得予定)

配当	通期176円(中間70円、期末106円)、配当性向55.1% ※前年比: 2円増配
自己株式取得	105億円 15億円(2025年3月6日発表分、2025年4月取得終了) 90億円(2025年5月15日発表分、2025年5月～2026年3月取得) ※2024年度実績 115億円、2.3百万株
総還元性向予想	79.1%(配当176円と自己株式取得105億円に基づき計算)

2025年度業績予想サマリー 前年同期比

(億円)

	2024年度 実績					2025年度 業績予想					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
売上高	587	595	1,182	1,332	2,514	650	569	1,219	1,403	2,622	+63	-26	+37 (+3%)	+71 (+5%)	+108 (+4%)
営業利益	144	139	283	285	568	171	112	283	293	576	+27	-27	0 (0%)	+8 (+3%)	+8 (+1%)
営業外損益	16	-20	-4	16	12	-6	-6	-12	9	-3	-22	+14	-8	-7	-15
為替差損益	13	-21	-8	6	-2	-14	0	-14	0	-14	-27	+21	-6	-6	-12
経常利益	160	119	279	301	580	165	106	271	302	573	+5	-13	-8 (-3%)	+1 (+0%)	-7 (-1%)
特別損益	0	8	8	7	15	0	0	0	0	0	0	-8	-8	-7	-15
純利益 ^{※1}	116	89	205	225	430	122	84	206	225	431	+6	-5	+1 (0%)	0 (0%)	+1 (+0%)
EBITDA ^{※2}	180	165	345	367	712	-	-	353	380	733	-	-	+8	+13	+21
EPS(円/株)	83.78	65.00	148.78	164.48	313.26	-	-	152.52	166.91	319.43	-	-	+3.74	+2.43	+6.17
配当(円/株)	-	-	70	104	174	-	-	70	106	176	-	-	0	+2	+2
配当性向(%)	-	-	-	-	55.5%	-	-	-	-	55.1%	-	-	-	-	-0.4pt
配当総額	-	-	96	142	238	-	-	95	142	237	-	-	-1	0	-1
売上高営業利益率	24.6%	23.4%	24.0%	21.4%	22.6%	26.3%	19.7%	23.2%	20.9%	22.0%	+1.7pt	-3.7pt	-0.8pt	-0.5pt	-0.6pt
ROE	-	-	-	-	18.7%	-	-	-	-	18.1%	-	-	-	-	-0.6pt
為替レート(円/ドル)	156	150	153	152	153	145	145	145	145	145	-	-	-	-	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す ※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

上期

2025年度 予想	2024年度 実績	前年同期比
283 億円	283 億円	0 億円(0%)

化学品	前年同期比 +6億円	尿素・アドブルー®や高純度硫酸の増収により増益
機能性材料	前年同期比 +19億円	ディスプレイ・半導体・無機増収により増益
農業化学品	前年同期比 -25億円	固定費等増加(昨年度の一過性要因による償却費減少11億円の反動と在庫変動影響)により減益
ヘルスケア	前年同期比 -8億円	ファインテック減収により減益

通期

2025年度 予想	2024年度 実績	前年同期比
576 億円	568 億円	+8 億円(+1%)

化学品	前年同期比 +10億円	高純度硫酸や尿素・アドブルー®の増収により増益
機能性材料	前年同期比 +19億円	ディスプレイ・半導体・無機増収により増益
農業化学品	前年同期比 -3億円	フルララネル・グレーシア・ラウンドアップ増収も、固定費等増加(昨年度の一過性要因による償却費減少11億円の反動と在庫変動影響)により減益
ヘルスケア	前年同期比 -5億円	ファインテック減収により減益

営業外損益・特別損益の内訳

(億円)

	2023年度 実績			2024年度 実績			前年同期比			2024年度 予想 ^{※3}	2025年度 予想		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	年間	上期	下期	年間
受取利息・配当金	4.4	12.8	17.2	5.9	13.5	19.4	+1.5	+0.7	+2.2	-	7.5	11.6	19.1
持分法投資損益	4.0	1.4	5.4	1.4	9.2	10.6	-2.6	+7.8	+5.2	-	3.7	7.3	11.0
為替差損益 ^{※1}	18.8	3.3	22.1	-8.3	6.8	-1.5	-27.1	+3.5	-23.6	-5.0	-14.0	0.0	-14.0
支払利息	-2.6	-2.7	-5.3	-3.5	-3.0	-6.5	-0.9	-0.3	-1.2	-	-3.2	-2.9	-6.1
固定資産処分損他	-3.6	-1.5	-5.1	0.5	-10.6	-10.1	+4.1	-9.1	-5.0	-	-5.7	-7.6	-13.3
営業外損益	21.0	13.3	34.3	-4.0	15.9	11.9	-25.0	+2.6	-22.4	9.0	-11.7	+8.4	-3.3
特別利益	6.0	7.3	13.3	8.2	45.1	53.3	+2.2	+37.8	+40.0	-	0.0	0.0	0.0
特別損失	0.0	-11.8	-11.8	0.0	-38.8	-38.8	0.0	-27.0	-27.0	-	0.0	0.0	0.0
特別損益^{※2・4}	6.0	-4.5	1.5	8.2	6.3	14.5	+2.2	+10.8	+13.0	14.0	0.0	0.0	0.0

※1 為替レート(円/ドル): 23/3末 133.54、23/9末 149.58、24/3末 151.40、24/9末 142.82、25/3末 149.53

※2 2023年度年間実績:

特別利益+13.3億円(有価証券売却益13.3億円)

特別損失 -11.8億円(減損損失8.2億円、出資先(非上場会社)にかかる保有株式減損3.5億円)

※3 2024年度予想: 2025年2月発表

※4 2024年度年間実績:

特別利益+53.3億円(信託受益権受贈益32.6億円、有価証券売却益12.5億円、条件付対価受入益8.2億円)

特別損失 -38.8億円(減損損失38.8億円)

2024年度のフリー・キャッシュ・フローは416億円となり、前年同期比266億円の増加

(億円)

	2023年度 実績	2024年度 実績	前年同期比	2024年度 予想 (2024年11月発表)	2025年度 予想
営業活動によるキャッシュ・フロー	337	592	255	535	552
税金等調整前純利益	518	595	77	546	573
特別損益(マイナスは益)	-2	-15	-13	-14	0
減価償却費※1	138	144	6	144	157
法人税等の支払	-159	-126	33	-120	-167
運転資金増減他	-158	-6	152	-21	-11
投資活動によるキャッシュ・フロー	-187	-176	11	-190	-213
設備投資※2	-202	-176	26	-191	-215
投資有価証券購入・売却	16	-2	-18	10	-2
その他	-1	2	3	-9	4
フリー・キャッシュ・フロー	150	416	266	345	339
財務活動によるキャッシュ・フロー	-221	-357	-136	-327	-317
株主還元(配当)	-230	-227	3	-227	-341
株主還元(自己株式取得)	-100	-115	-15	-100	
有利子負債増減	109	-15	-124	0	24
その他	0	0	0	0	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	-11	-13	0	0
現金及び現金同等物の増減額	-69	48	117	18	22
現金及び現金同等物の残高	227	275	48	245	297

※1 のれん償却費を含む ※2 無形資産を含む

貸借対照表

(億円)

	2024年3月末	2025年3月末	前期末比
流動資産	2,020	2,104	+84
現預金	227	275	+48
売上債権	888	891	+3
たな卸資産	782	801	+19
その他	123	137	+14
固定資産	1,215	1,204	-11
有形固定資産	774	724	-50
無形固定資産	107	135	+28
投資有価証券	261	244	-17
その他	73	101	+28
資産合計	3,235	3,308	+73

	2024年3月末	2025年3月末	前期末比
負債	926	946	+20
買入債務	204	199	-5
借入金、社債、CP	410	405	-5
その他	312	342	+30
純資産	2,309	2,362	+53
株主資本※1	2,139	2,229	+90
その他有価証券評価差額金	83	70	-13
為替換算調整勘定	42	18	-24
非支配株主持分	34	29	-5
退職給付に係る調整累計額	11	16	+5
負債純資産合計	3,235	3,308	+73

自己資本比率	70.3%	70.5%
ネットD/Eレシオ※2	0.09倍	0.06倍

投資有価証券(固定資産)の内訳

	2024年3月末	2025年3月末	前期末比
上場株式※3	171	156	-15
(単体ベース保有銘柄数)	(24)	(24)	(0)
非上場株式	23	22	-1
関係会社株式	67	65	-2
合計	261	243	-18
純資産に占める 政策保有株式の割合※4	7.7%	6.9%	

参考

2018年3月末
300
(55)
17
68
385
17.0%

※1 株主資本増減 +90 = 純利益430 - 配当その他340 ※2 ネットD/Eレシオ = (借入金、社債、CP - 現金預金) / 株主資本

※3 24/3末 171 + 取得0 + 評価差額-15 = 25/3末 156 ※4 政策保有株式割合 = 政策保有株式(単体ベース、上場株+非上場株) / 純資産(連結ベース)

設備投資および減価償却費は、コア成長事業における製造能力増強(主に海外)により近年増加
 研究開発費は、半導体を中心とした機能性材料と農業化学品にて増加基調

(億円)

	設備投資※1					減価償却費※2					研究開発費※7				
	2021	2022	2023	2024	2025 予想	2021	2022	2023	2024	2025 予想	2021	2022	2023	2024	2025 予想
化学品※3	43	28	46	54	55	25	25	27	29	31	3	3	3	3	3
機能性材料※4	54	90	91	46	88	39	46	60	66	66	70	76	82	83	101
(うち、NCK)※4	13	50	57	5	4	5	7	23	31	19	5	5	8	7	6
農業化学品※5	17	59	51	41	24	27	28	34	29	39	42	43	43	45	50
ヘルスケア※6	7	5	5	5	7	4	4	4	4	5	6	4	4	6	7
卸売	0	1	0	3	4	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0
その他※6・7	3	11	9	27	37	6	7	12	15	20	39	42	41	39	63
合計※7	124	194	202	176	215	102	110	138	144	162	160	168	173	176	224

※1 設備投資額: キャッシュ・フローベース

※2 減価償却法

国内 ディスプレイ材料・半導体材料: 4年定率(初年度50%を償却)、その他: 8年定率(初年度25%を償却)

海外 NCK: 6年定率(初年度33%を償却)、NBR: 10年定額

※3 設備投資 2024年 富山工場 製造設備(10億円)、2025年 富山工場 製造設備(9億円)を含む

※4 設備投資 2022年 NCK半導体新工場(46億円)、2023年 NCK半導体新工場(47億円)、2025年予想 半導体研究設備・機器(32億円)を含む

※5 設備投資 2020年 ダイセン買収(54億円)、2022年 NBR 第1期工事(43億円)、2023年 小野田工場 製造設備(26億円)、2024年 小野田工場 製造設備(18億円)を含む

減価償却費 2024年 一過性要因の11億円減少を含む

※6 設備投資 2022年4月に組織改定を実施。2021年は旧医薬品セグメント、それ以降はその他を含む

※7 研究開発費 集計方法の変更により2025年から企画本部(その他)の一部経費を研究開発費に含む

Contents

01

2024年度通期 連結決算報告

P3

02

2025年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P16

04

Vista2027 Stage I、Stage II 概要

P44

05

ESGトピックス

P49

06

参考資料

P54

セグメント別 2024年度通期決算 前年同期比

(億円)

		2023年度 実績					2024年度 実績					前年同期比				
		上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
化学品	売上高	179	96	81	177	356	179	102	97	199	378	0	+6	+16	+22	+22 (+6%)
	営業利益	-1	4	-3	1	0	-4	5	1	6	2	-3	+1	+4	+5	+2 (+270%)
機能性材料	売上高	405	214	227	441	846	486	256	259	515	1,001	+81	+42	+32	+74	+155 (+18%)
	営業利益	111	63	51	114	225	144	79	67	146	290	+33	+16	+16	+32	+65 (+29%)
農業化学品	売上高	353	132	336	468	821	392	146	324	470	862	+39	+14	-12	+2	+41 (+5%)
	営業利益	116	29	89	118	234	142	37	77	114	256	+26	+8	-12	-4	+22 (+9%)
ヘルスケア	売上高	35	13	15	28	63	33	11	16	27	60	-2	-2	+1	-1	-3 (-5%)
	営業利益	18	5	5	10	28	13	3	3	6	19	-5	-2	-2	-4	-9 (-33%)
卸売・その他・調整額	売上高	85	41	55	96	181	92	51	70	121	213	+7	+10	+15	+25	+32
	営業利益	-3	-8	6	-2	-5	-12	4	9	13	1	-9	+12	+3	+15	+6
合計	売上高	1,057	496	714	1,210	2,267	1,182	566	766	1,332	2,514	+125	+70	+52	+122	+247 (+11%)
	営業利益	241	93	148	241	482	283	128	157	285	568	+42	+35	+9	+44	+86 (+18%)

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日産産業、その他：日産物流、日産緑化、日産エンジニアリング、NC東京ベイ、NCアグロ函館・日本ポリテック(2024年度より連結子会社化)、日本肥糧、調整額：企画本部ほか(内訳はp63,p64参照)

セグメント別 2024年度通期決算 業績予想比

(億円)

		2024年度 予想 (2025年2月発表)					2024年度 実績					業績予想比
		上期 実績	3Q 実績	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	4Q・年間
化学品	売上高	179	102	104	206	385	179	102	97	199	378	-7
	営業利益	-4	5	0	5	1	-4	5	1	6	2	+1
機能性材料	売上高	486	256	232	488	974	486	256	259	515	1,001	+27
	営業利益	144	79	60	139	283	144	79	67	146	290	+7
農業化学品	売上高	392	146	325	471	863	392	146	324	470	862	-1
	営業利益	142	37	78	115	257	142	37	77	114	256	-1
ヘルスケア	売上高	33	11	18	29	62	33	11	16	27	60	-2
	営業利益	13	3	7	10	23	13	3	3	6	19	-4
卸売・その他・ 調整額	売上高	92	51	49	100	192	92	51	70	121	213	+21
	営業利益	-12	4	-6	-2	-14	-12	4	9	13	1	+15
合計	売上高	1,182	566	728	1,294	2,476	1,182	566	766	1,332	2,514	+38
	営業利益	283	128	139	267	550	283	128	157	285	568	+18

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流、日産緑化、日産エンジニアリング、NC東京バイ、NCアグロ函館・日本ポリテック(2024年度より連結子会社化)、日本肥糧、調整額：企画本部ほか(内訳はp63,p64参照)

セグメント別 2025年度通期業績予想 前年同期比

(億円)

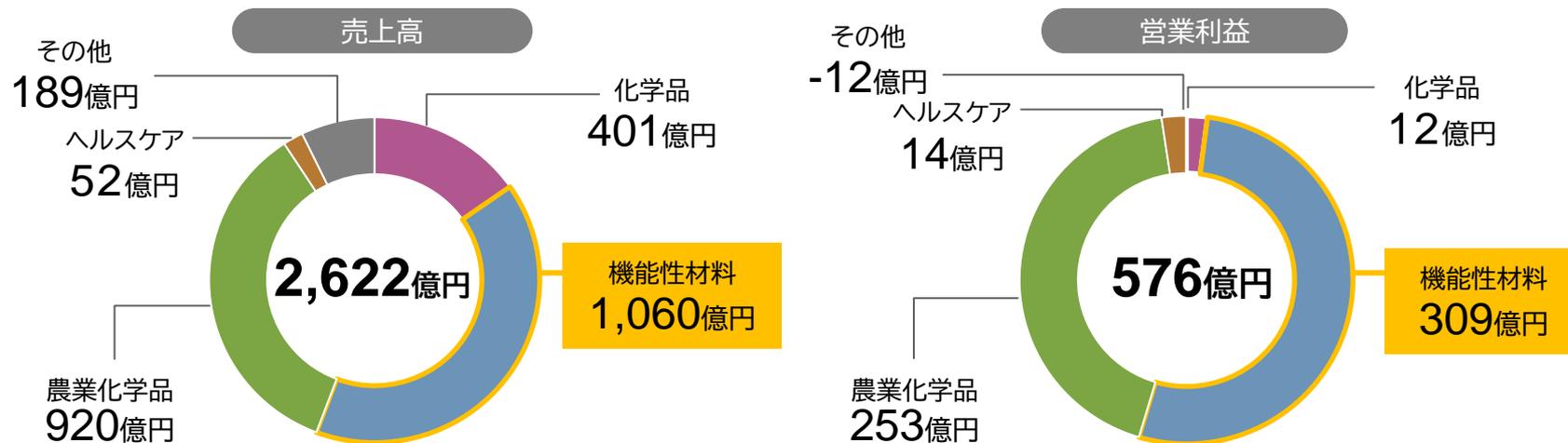
		2024年度 実績					2025年度 予想					前年同期比				
		1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
化学品	売上高	89	90	179	199	378	94	97	191	210	401	+5	+7	+12	+11	+23 (+6%)
	営業利益	7	-11	-4	6	2	8	-6	2	10	12	+1	+5	+6	+4	+10 (+567%)
機能性材料	売上高	235	251	486	515	1,001	257	263	520	540	1,060	+22	+12	+34	+25	+59 (+6%)
	営業利益	70	74	144	146	290	83	80	163	146	309	+13	+6	+19	0	+19 (+7%)
農業化学品	売上高	204	188	392	470	862	232	155	387	533	920	+28	-33	-5	+63	+58 (+7%)
	営業利益	69	73	142	114	256	76	41	117	136	253	+7	-32	-25	+22	-3 (-1%)
ヘルスケア	売上高	15	18	33	27	60	15	11	26	26	52	0	-7	-7	-1	-8 (-13%)
	営業利益	6	7	13	6	19	4	1	5	9	14	-2	-6	-8	+3	-5 (-26%)
卸売・その他・調整額	売上高	44	48	92	121	213	52	43	95	94	189	+8	-5	+3	-26	-24
	営業利益	-8	-4	-12	13	1	0	-4	-4	-8	-12	+8	0	+8	-21	-13
合計	売上高	587	595	1,182	1,332	2,514	650	569	1,219	1,403	2,622	+63	-26	+37	+71	+108 (+4%)
	営業利益	144	139	283	285	568	171	112	283	293	576	+27	-27	0	+8	+8 (+1%)

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

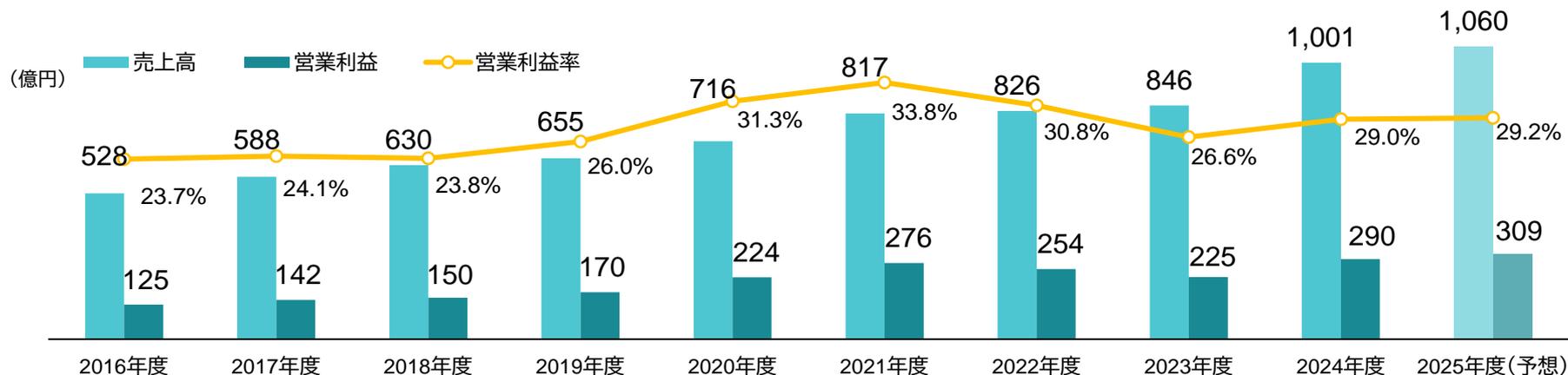
※ 卸売：日星産業、その他：日産物流、日産緑化、日産エンジニアリング、NC東京バイ、NCアグロ函館・日本ポリテック(2024年度より連結子会社化)、日本肥糧、調整額：企画本部ほか(内訳はp63,p64参照)

※ 企画本部の2024年度実績、2025年度予想の売上高・営業利益はp45参照

2025年度セグメント別業績予想※1



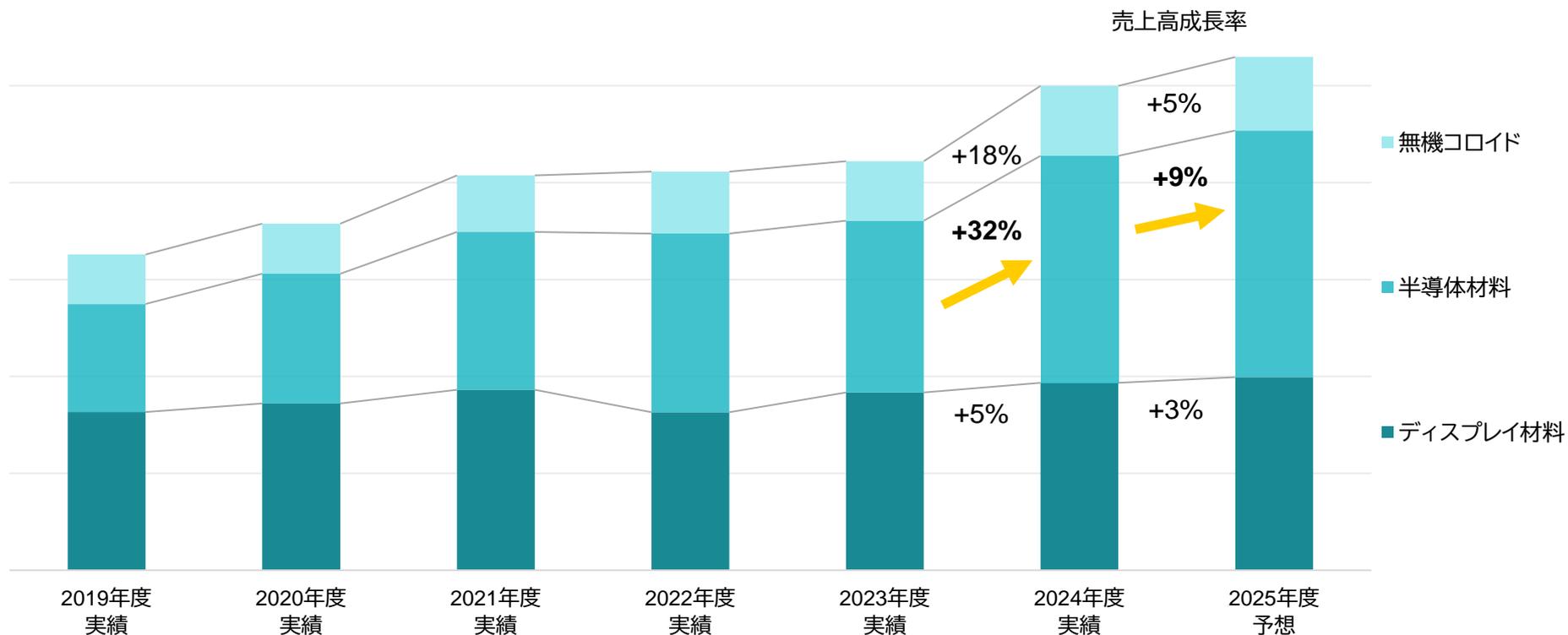
機能性材料セグメント業績推※1・2



※1 2025年度より新方式セグメント別営業利益(p62参照) ※2 2022年4月に組織改定を実施。2016~2020年度実績は旧セグメント区分

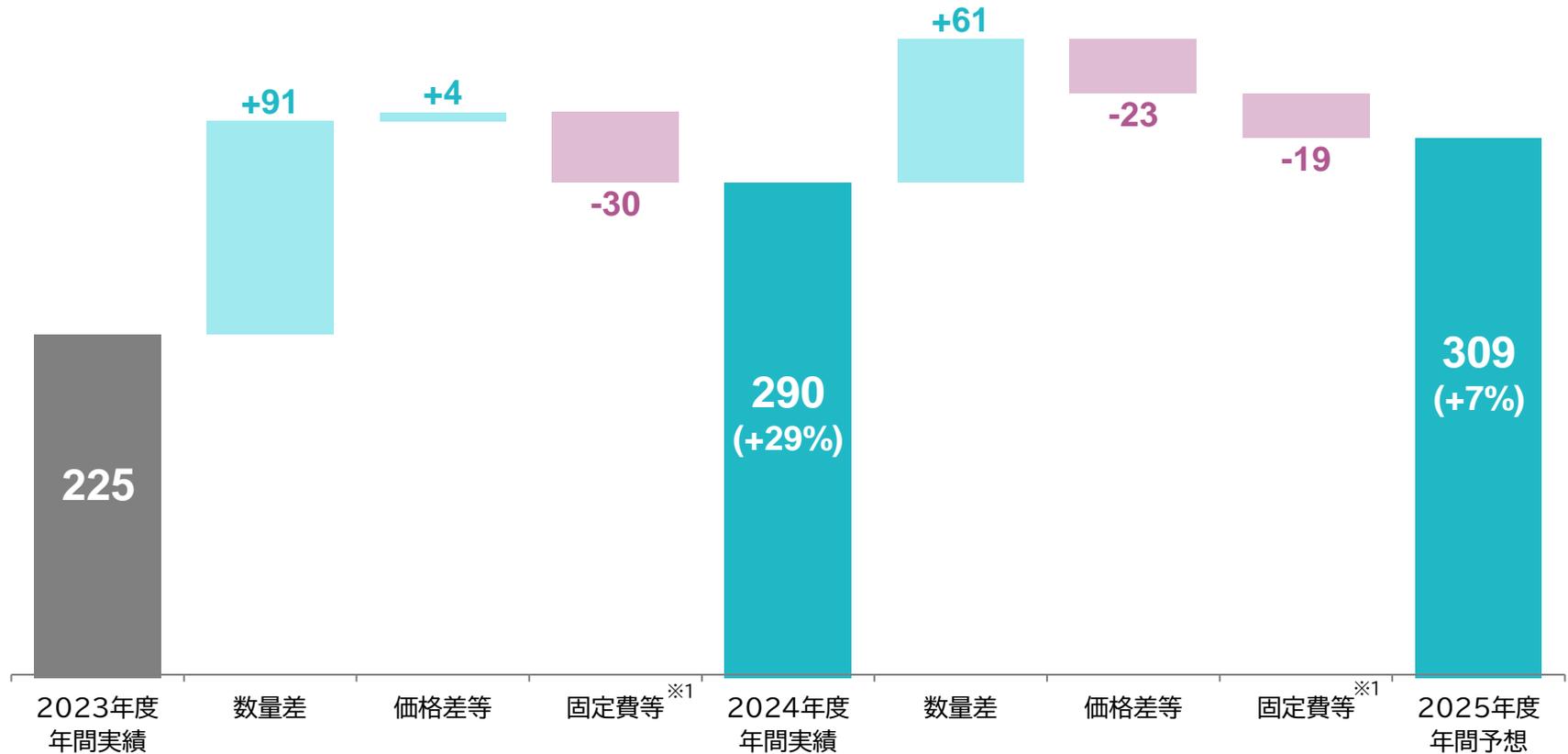
- ディ스플레이材料は、2022年度を底として回復。キャッシュカウとして安定的な売上高を維持
- 半導体材料は、2023年度は一時的な調整局面にあったが、市場の回復に伴い、2024年度は高い成長率を実現
EUV材料は顧客生産増により伸長し、中長期での成長トレンドは不変
- サブセグメント売上高構成では、成長ドライバーである半導体材料が、ディスプレイ材料を上回る
- 2025年度は、半導体材料を中心に全てのサブセグメントにて、前年比増収を見込む

機能性材料サブセグメント売上高推移



- 2024年度は半導体の成長投資に伴う固定費増加も、半導体を中心に全てのサブセグメントでの数量増加が寄与し、大幅増収増益
- 2025年度は半導体とディスプレイの数量増加により、価格差や固定費等の減益要因が加わるも、増収増益

■ 営業利益増減分析 (億円)



※1 固定費等には在庫変動影響を含む

- ディ스플레이材料は、2024年度年間で5%増収、2025年度年間で3%増収予想
- 半導体材料は、2024年度年間で32%増収、2025年度年間で9%増収予想
- 無機コロイドは、2024年度年間で18%増収、2025年度年間で5%増収予想

主要製品	2024年度 実績					2025年度 予想				
	前年同期比					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
ディスプレイ材料合計	+1%	+9%	+10%	+9%	+5%	+10%	+1%	+6%	+1%	+3%
ARC®	+32%	+15%	+16%	+15%	+22%	+3%	0%	+2%	+3%	+2%
多層材料	+68%	+96%	+15%	+45%	+54%	+14%	+15%	+14%	+12%	+13%
EUV材料※1	+44%	+21%	+31%	+26%	+34%	+17%	+3%	+10%	+11%	+10%
半導体材料合計	+42%	+34%	+17%	+24%	+32%	+10%	+7%	+9%	+9%	+9%
無機コロイド合計	+19%	+11%	+21%	+16%	+18%	+7%	+6%	+7%	+3%	+5%
機能性材料セグメント合計	+20%	+19%	+14%	+17%	+18%	+9%	+5%	+7%	+5%	+6%

※1 EUV材料: EUV向け下層膜とSi-HMの合計

(億円)

	2023年度 実績					2024年度 実績					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	405	214	227	441	846	486	256	259	515	1,001	+81	+42	+32	+74	+155
営業利益	111	63	51	114	225	144	79	67	146	290	+33	+16	+16	+32	+65

固定費等【下期】増加9億円【年間】増加30億円

【下期】増収・増益 【年間】増収・増益

ディスプレイ

光IPS

非スマホ向け全般で増収

【下期】増収（大型モニター、車載向け増収）

【年間】増収（大型モニター、ノートPC向け増収）

ラビング
IPS

【下期】増収

【年間】減収

VA

【下期】【年間】増収（TV生産回復）

【下期】増収・増益 【年間】増収・増益

先端世代を中心に市場回復、顧客稼働増
一部顧客にて在庫積み増しあり

ARC®

【下期】【年間】増収

多層材料

【下期】【年間】増収

EUV材料

【下期】【年間】増収

半導体

固定費等【下期】増加11億円【年間】増加30億円

無機
コロイド

【下期】増収・増益 【年間】増収・増益

【下期】【年間】スノーテックス（特に研磨剤）、
オルガノ・モノマーゾル増収

(億円)

	2024年度 実績					2025年度 予想					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
売上高	235	251	486	515	1,001	257	263	520	540	1,060	+22	+12	+34	+25	+59
営業利益	70	74	144	146	290	83	80	163	146	309	+13	+6	+19	0	+19

固定費等【年間】増加19億円

【年間】増収・増益

ディスプレイ

光IPS

非スマホ向けで増収

【年間】増収（大型モニター、車載向け増収）

ラビング
IPS

【年間】減収

VA

【年間】増収（一部シェア拡大）

固定費等【年間】増加4億円

【年間】増収・増益

先端世代を中心に増収、顧客稼働増

ARC®

【年間】増収

多層材料

【年間】増収

EUV材料

【年間】増収

三次元
実装材料

【年間】増収

固定費等【年間】増加9億円

半導体

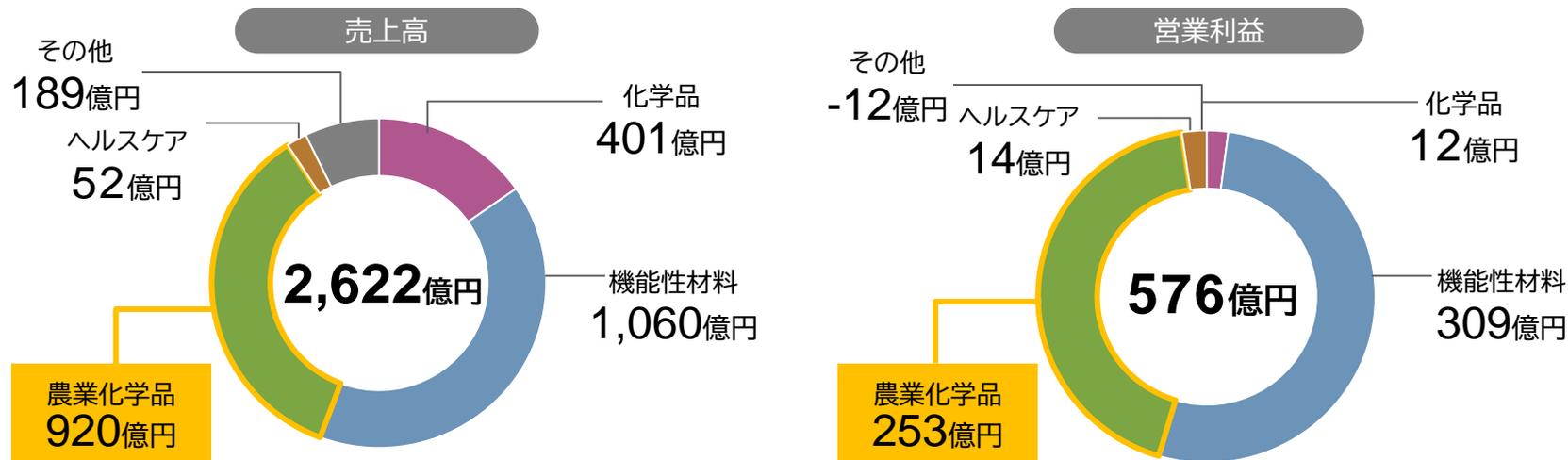
【年間】増収・減益

【年間】オイル&ガス材料、スノーテックス(研磨剤) 増収

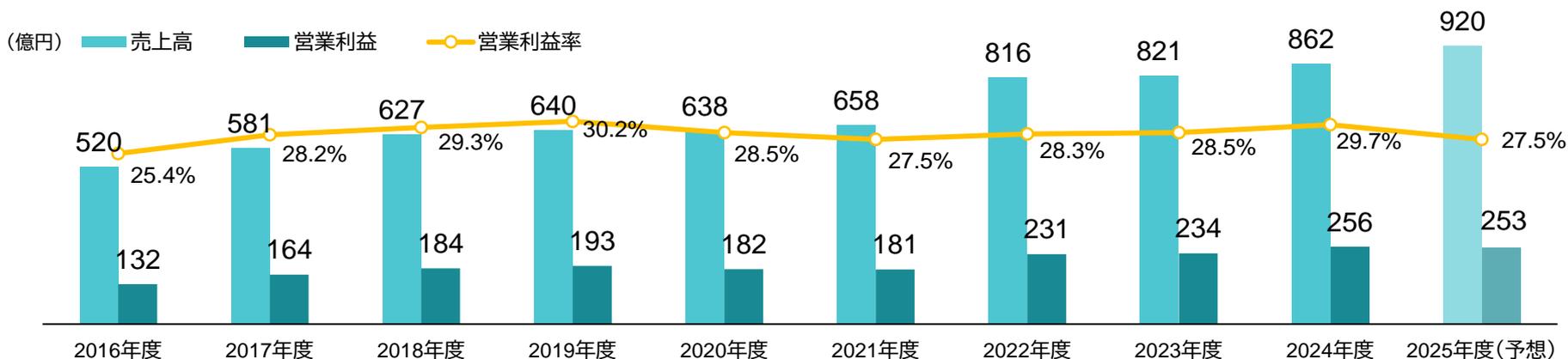
固定費等【年間】増加5億円

無機
コーティング

2025年度セグメント別業績予想※1



農業化学品セグメント業績推移※1・2



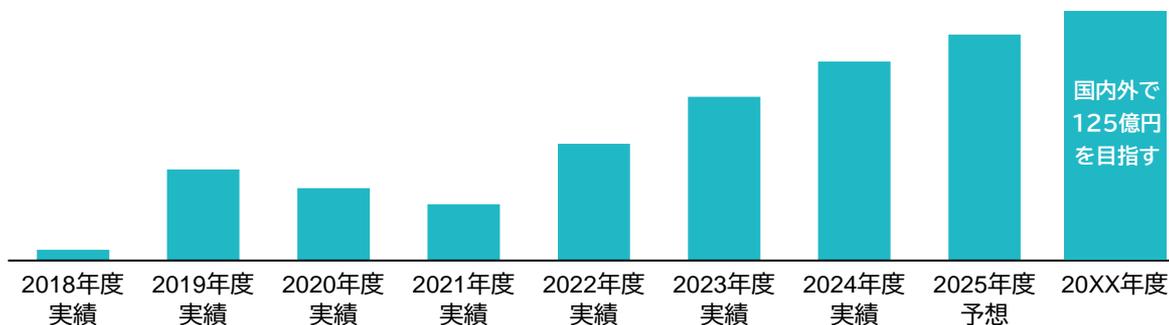
※1 2025年度より新方式セグメント別営業利益(p62参照) ※2 2022年4月に組織改定を実施。2016~2020年度実績は旧セグメント区分

■ 2024年度年間で5%増収、2025年度年間で7%増収予想

主要製品名 (農薬:2024年度売上高順)	種類	2024年度 実績					2025年度 予想					
		前年同期比					前年同期比					
		上期	3Q	4Q	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	
農薬	ラウンドアップ※1	除草剤	-2%	+2%	-8%	-7%	-5%	+5%	+11%	+8%	+9%	+8%
	アルテア	除草剤	+20%	-11%	-3%	-4%	0%	+19%	-20%	+15%	+2%	+5%
	グレーシア	殺虫剤	+42%	+12%	-5%	+2%	+21%	-20%	-33%	-27%	+68%	+14%
	ライメイ	除草剤	+125%	+149%	-3%	+13%	+45%	+43%	-42%	0%	-5%	-3%
	タルガ	殺菌剤	-47%	-5%	-15%	-12%	-29%	+3%	+30%	+15%	-13%	-3%
	パーミット	除草剤	-46%	+332%	+59%	+138%	+22%	+1%	+4%	+2%	-8%	-5%
	ダイセン	殺菌剤	-24%	-30%	+11%	-1%	-9%	+35%	-3%	+15%	+3%	+6%
	ベルダー	除草剤	-	-	-	-	-	-	-	-	+178%	+201%
動物薬	フルララネル	動物薬	+20%	-3%	-21%	-12%	+6%	+31%	-17%	+5%	+25%	+12%
セグメント合計※2		-	+11%	+11%	-4%	0%	+5%	+14%	-18%	-1%	+13%	+7%

■ グレーシア売上高

- 当初の売上目標100億円を2024年度に達成
- 今回ピーク時売上目標を125億円へ上方修正



参考

[ラウンドアップの現状説明会資料](#)

(2020年1月22日発表)

[農業化学品事業説明会資料](#)

(2022年9月28日発表)

※1 ラウンドアップALは、2024年度年間実績のラウンドアップ売上高全体の22%を占める

※2 セグメント合計の前年同期比は値引きを含む

(億円)

	2023年度 実績					2024年度 実績					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	353	132	336	468	821	392	146	324	470	862	+39	+14	-12	+2	+41
営業利益	116	29	89	118	234	142	37	77	114	256	+26	+8	-12	-4	+22

固定費等【下期】増加18億円【年間】増加16億円(一過性要因(償却費減少11億円)を含む)

【下期】増収・減益

ラウンドアップ	減収(ML:流通在庫影響により数量減)	パーミット	増収(輸出:24年度は下期に販売が偏重)
アルテア	減収(輸出:アジアでの流通在庫影響)	ベルダー	増収(国内:24年度4Qに上市)
ライメイ	増収(輸出:欧州での需要増、25年度からの一部出荷前倒し)	フルララネル	減収(原薬:25年度へ一部出荷後ろ倒しにより減収、ロイヤリティ:増収)

【年間】増収・増益

ラウンドアップ	減収(ML:流通在庫影響により数量減)	パーミット	増収(輸出:欧州での需要増、25年度から一部出荷前倒し)
グレースシア	増収(国内:拡販、輸出:アジア等での拡販)	ダイセン	減収(国内:25年度へ一部出荷後ろ倒し、輸出:減収)
タルガ	減収(輸出:欧州での流通在庫影響、23年度へ出荷前倒し)	ベルダー	増収(国内:24年度4Qに上市)
ライメイ	増収(輸出:欧州での需要増)	フルララネル	増収(原薬:25年度へ一部出荷後ろ倒しにより減収、ロイヤリティ:増収、一部円安影響あり)

(億円)

	2024年度 実績					2025年度 予想					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
売上高	204	188	392	470	862	232	155	387	533	920	+28	-33	-5	+63	+58
営業利益	69	73	142	114	256	76	41	117	136	253	+7	-32	-25	+22	-3

固定費等 【年間】増加35億円(2024年度は償却費減少11億円の一過性要因あり)

【年間】増収・減益

ラウンドアップ 増収(ML:流通在庫調整の終了により数量増、AL:数量増)

アルテア 増収(輸出:新規国登録での拡販、既存販売国でも数量増)

グレーシア 増収(国内:拡販、輸出:販売地域の拡大)

ダイセン 増収(国内:24年度から一部出荷後ろ倒し)

ベルダー 増収(国内:24年度4Qから上市、25年度拡販)

フルララネル 増収(原薬:24年度から一部出荷後ろ倒しにより増収、ロイヤリティ:減収、一部円高影響あり)

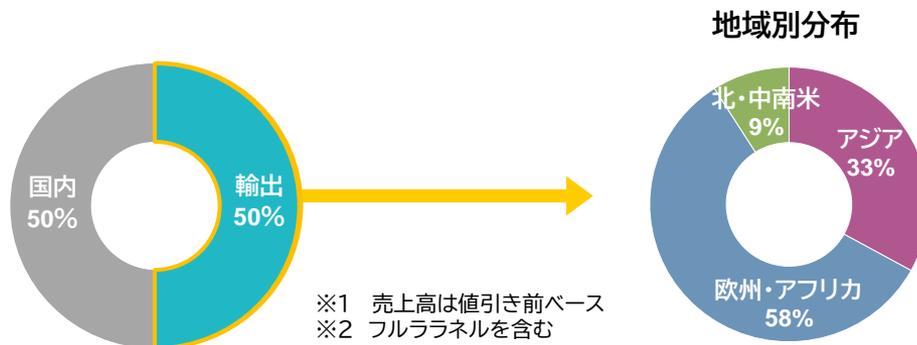
	上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
既存製品	2002	ラウンドアップ	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
	2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
	2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
	2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
	2010	ラウンドアップマックスロードAL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤。2016年AIⅡ、2017年AIⅢ上市
	2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
	2013	フルララネル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MAH社※1向けにブラベクト®原薬として出荷開始
	2014	ブラベクト®※2	ペット動物用医薬品	-	2014年4月欧州、6月米国、15年7月日本で上市
	2017	トランスフォーム™/エクシード™ /ビレスコ™	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
新製品・パイプライン	2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効、ミツバチへの影響が少ない。 2018年韓国、2019年日本、2021年インド・インドネシアで上市以降、順次販売国拡大中(ピーク時売上高目標125億円)
	2019	クインテック(キノキシフェン)	殺菌剤	買収	2019年11月米国コルテバ社より世界事業を買収。果樹野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的
	2020	ダイセン(マンゼブ)	殺菌剤	買収	2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収。果樹野菜用の保護除菌剤、耐雨性に優れる
	2024	ベルダー(ジメスルファゼット) (NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや難防除雑草クログワイに高い効果を持つ(ピーク時売上目標60億円)
	2027	未定(NC-520)	殺虫剤	共同開発	他社との共同開発の新規水稲用殺虫剤。ウンカ類への効果が高い(混合剤も含めピーク時売上目標25億円)
	2027	未定(イプトリアゾピリド) (NC-656)	除草剤	自社開発	抵抗性イネ科雑草(ヒエ・アゼガヤ)に優れた効果を持つ。当社初の水稲用莖葉除草剤(ピーク時売上高目標100億円)

新製品群の
ピーク時売上高
目標合計
360億円

※1 MAH社:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門、MSD Animal Health 社の略称 ※2 ブラベクト®:MAH社の販売製品名

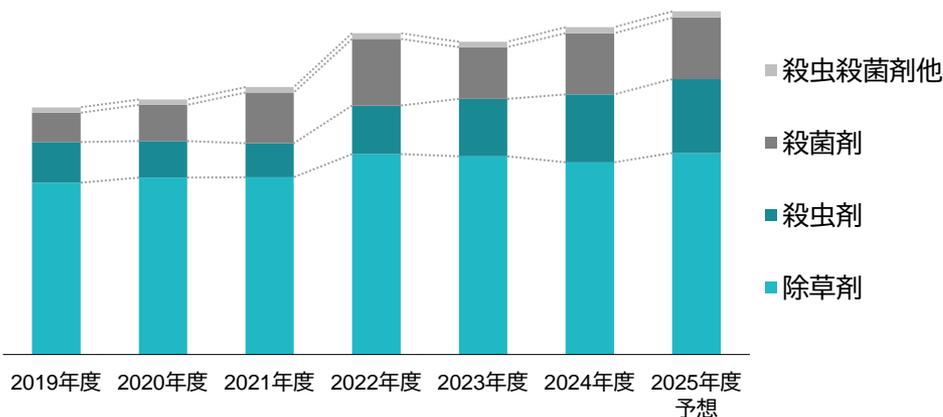
国内農薬販売 第1位(2022年10月~2023年9月)
 農薬売上高は国内向けの方が海外向けよりも大きい

農業化学品セグメントの輸出比率(2024年度実績)※1・2

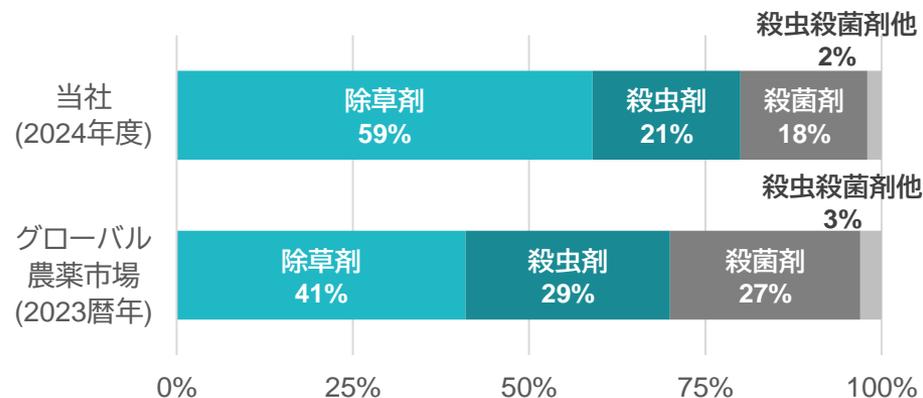


既存剤の拡販、自社開発剤の上市、剤の買収・導入により、製品ポートフォリオの拡充を進める

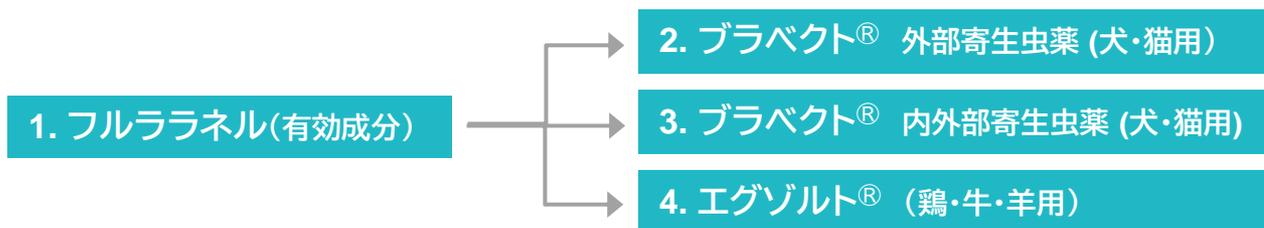
当社の農薬売上高推移



当社の農薬売上高構成比



- 当社が発明した化合物「フルララネル」を有効成分とするブラベクト®シリーズ・エグゾルト®は現在100か国以上で販売中
- ブラベクト®最大の特徴は12週間にわたる効果持続性(競合製品は1か月程度)
- MAH※1社とのフルララネルの長期供給契約を延長、新規動物用医薬品創出へ向けた共同研究開発を開始(2025年4月11日ニュースリリース)



1. フルララネル(Fluralaner)

- ブラベクト®・エグゾルト®の有効成分。当社がMAH社に供給
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
 - 2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
 - UK、ドイツ、フランス等一部欧州諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は2027年6月まで延長済み

2. ブラベクト® (BRAVECTO®) 外部寄生虫薬

- MAH社が開発したペット用外部寄生虫薬。犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- 通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間※2にわたって持続する
- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)
 - 2014年4月欧州、以降米国、日本等上市
 - 2020年7月1か月剤(子犬向け)米国上市
- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)
 - 2016年7月欧州、以降米国、日本等上市
- 犬向け注射剤 (BRAVECTO® Quantum)
 - 12か月※3の効果持続性
 - 2024年6月豪州、以降欧州等上市

3. ブラベクト® (BRAVECTO®) 内外部寄生虫薬

- BRAVECTO® Plus
 - 猫向けスポットオン合剤
 - 2018年7月欧州、以降米国、日本等上市
- BRAVECTO® TriUNO
 - 犬向けチュアブルタブレット(3種合剤)
 - 1か月の効果持続性
 - 2024年10月欧州、中南米にて承認

4. エグゾルト® (EXZOLT®)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)
 - 2017年欧州、以降韓国、中東、日本等上市
- 牛向け 2022年ブラジル、以降メキシコ上市
- 羊向け 2023年豪州、NZ上市

※1 米国メルク社のアニマルヘルス事業部門、MSD Animal Health 社の略称

※2 クリイロコイタマダニは8週間

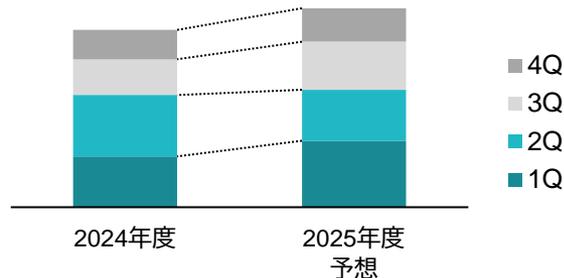
※3 クリイロコイタマダニは11か月

■ 当社のフルララネル売上高の構成

MAH※1社へのフルララネル販売 + MAH社からのランニングロイヤリティ(RR)

■ 2024～2025年度 四半期別売上高推移

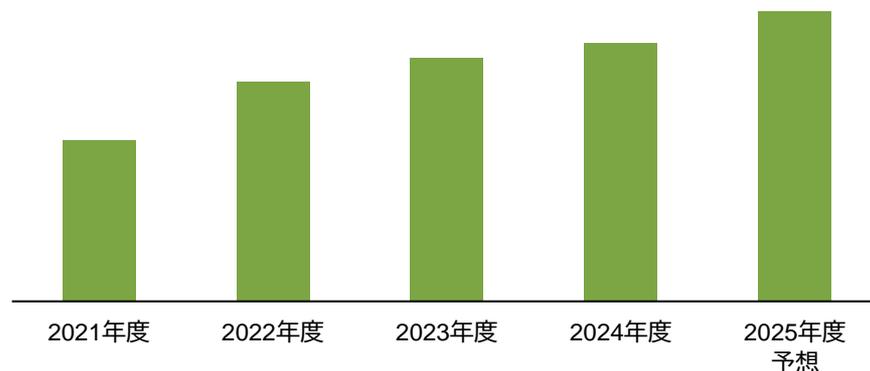
(RR収入含む)



MAH社のブラベクト・エグゾルト販売トレンドにより、当社のフルララネル売上高は上期が厚くなる傾向にある

■ 2021～2025年度 売上高推移

(RR収入含む)



- ・2022年度は、2021年度からの出荷後ろ倒しと円安影響により大幅増収。実績為替レートは136円/ドル
- ・2023年度の実績為替レートは145円/ドル
- ・2024年度の実績為替レートは153円/ドル
- ・2025年度は、2024年度からの出荷後ろ倒しにより大幅増収。想定為替レートは145円/ドル

■ ブラベクト®の拡大に向けたMAH社の開発状況

フルララネルを有効成分とするペット向けの新たな内外部寄生虫薬や、既存製品の登録国数の拡大に向けMAH社が開発中

※1 米国メルク社のアニマルヘルス事業部門、MSD Animal Health 社の略称

- グローバルな安定供給と製造コスト削減を目指した新たな原体生産拠点
- 計画通り設立完了し、2022年度よりNBRを連結子会社に追加。2023年3月から商業稼働を開始
- 2023年度以降は単体黒字化

Nissan Bharat Rasayan Private Limited(NBR)概要

本社所在地	ハリヤナ(Haryana)州グルガオン(Gurgaon)(ニューデリー近郊)
工場所在地	グジャラート(Gujarat)州サイカ(Saykha)に新設 (土地は同州産業開発公社(GIDC)より賃借)
営業開始日	2020年4月1日
事業内容	当社の農業(グレーシア、ライメイ等)原体を製造し、 当社へ販売
従業員数	約150名(2024年4月1日時点)
工場稼働時期	2022年度4Qより稼働開始
株主	当社70%、Bharat Rasayan Ltd(略称BRL)30%
取締役会	当社指名5名、BRL指名2名、中立1名、合計8名

Bharat Rasayan Ltd(BRL)概要

設立	1989年(インド大手農業製造販売会社)
上場	インド国立証取(NSE)、ボンベイ証取(BSE)
主要株主	グプタ(Sat Narain Gupta)会長等創業家一族74.99%
損益状況	2022年度売上高12,343百万ルピー、税引後利益1,246百万ルピー
工場	グジャラート州(Gujarat)ダヘジ(Dahej)、ハリヤナ州(Haryana) ロータク(Rohtak)の2工場
当社との関係	一部当社品を受託生産、グループ会社のBharat Certis Agriscienceが タルガ、パルサー、パーミットをインド国内で販売

資金計画 (2022年5月発表時点)

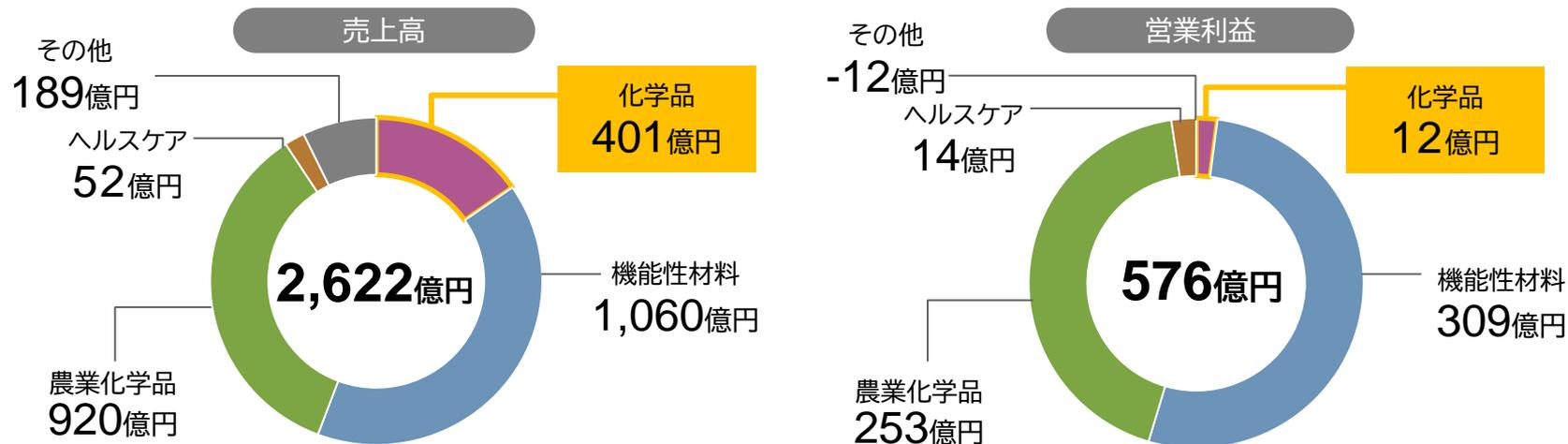
(億円)

設備投資	60	資本金	23
運転資金他	28	当社貸付	65
所要資金合計	88	資金調達合計	88

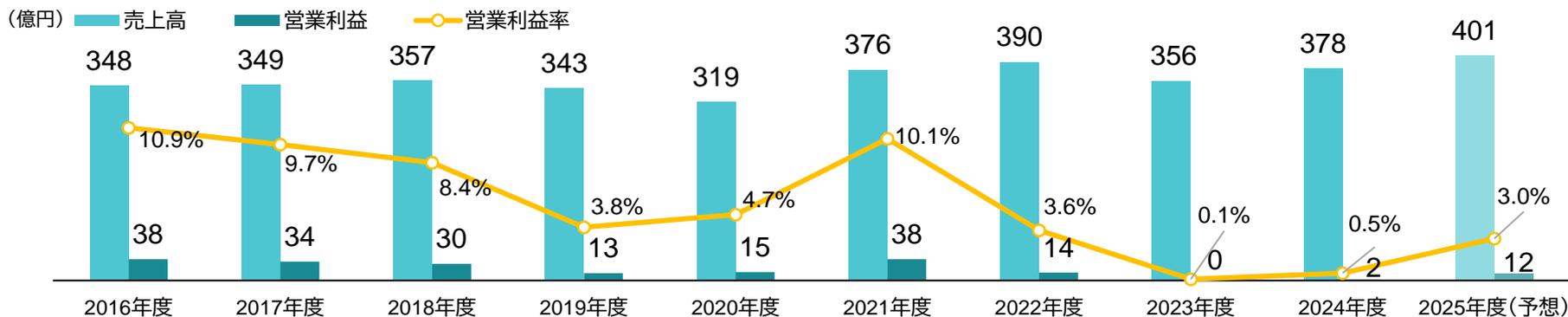
当社メリット

- 信頼できる経験豊富な現地パートナーの協力体制
- 有効成分の供給源の多様性・安全性確保と、原料不足リスクの低減
- 国内工場に比べて低い製造コスト
- すぐに利用できる工場用地(借地権の正式認可手続き完了済み)
- 既存の現地企業のM&Aに比べ、経営・財務リスクを大幅に軽減

2025年度セグメント別業績予想※1



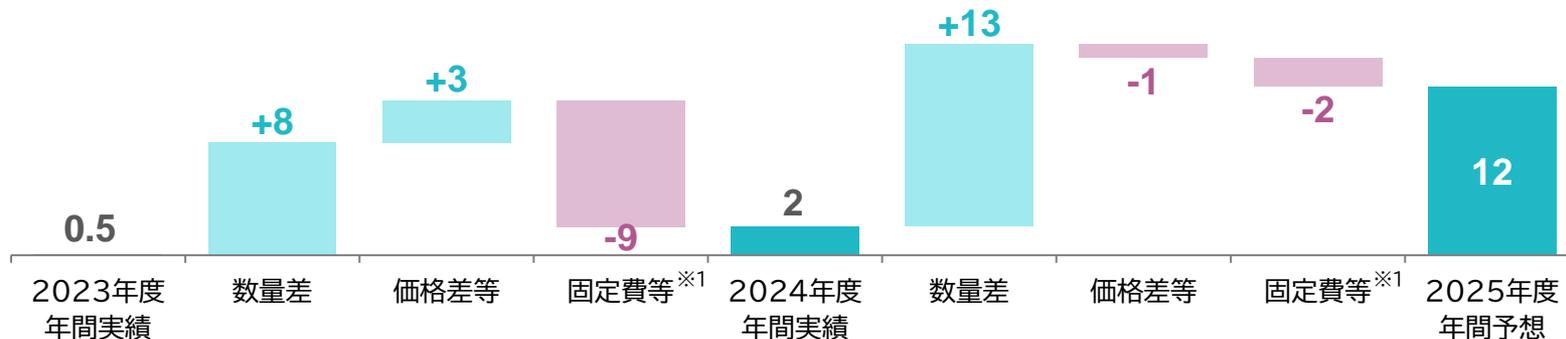
化学品セグメント業績推移※1・2



※1 2025年度より新方式セグメント別営業利益(p62参照) ※2 2022年4月に組織改定を実施。2016~2020年度実績は旧セグメント区分

- 2024年度は、環境化学品や高純度硫酸を中心とした数量増加の一方、固定費等増加もあり小幅な増益にとどまる
- 2024年度にファインケミカル事業の減損を実施(特別損失28億円計上)
- 2025年度は、高純度硫酸など多数製品での数量増加に加え、ファインケミカル事業の減損による固定費減少(6億円)もあり増収増益を見込む

■ 営業利益増減分析 (億円)



※1 固定費等には在庫変動影響を含む。2025年度予想にはファインケミカル減損による固定費減少を含む。

(億円)

	2023年度 実績					2024年度 実績					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	179	96	81	177	356	179	102	97	199	378	0	+6	+16	+22	+22
ファインケミカル	60	30	26	56	116	63	34	32	66	129	+3	+4	+6	+10	+13
基礎化学品	119	66	55	121	240	116	68	65	133	249	-3	+2	+10	+12	+9
営業利益	-1	4	-3	1	0	-4	5	1	6	2	-3	+1	+4	+5	+2

固定費等 【下期】増加4億円【年間】増加9億円

【下期】増収・増益

ファインケミカルは、環境化学品やファインオキシコールを中心に増収。固定費等増加も、増益

基礎化学品は、23年度の能登半島地震からの反動増で尿素・アドブルー®や硝酸製品などが増収。固定費等増加も、増益

【年間】増収・増益

ファインケミカルは、環境化学品やファインオキシコール、テピック一般を中心に増収。固定費等増加も、増益

基礎化学品は、高純度硫酸好調(半導体需要増)により増収となるも、原燃料高や固定費等増加により、減益

(億円)

	2024年度 実績					2025年度 予想					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
売上高	89	90	179	199	378	94	97	191	210	401	+5	+7	+12	+11	+23
ファインケミカル	31	32	63	66	129	31	33	64	66	130	0	+1	+1	0	+1
基礎化学品	58	58	116	133	249	63	64	127	144	271	+5	+6	+11	+11	+22
営業利益	7	-11	-4	6	2	8	-6	2	10	12	+1	+5	+6	+4	+10

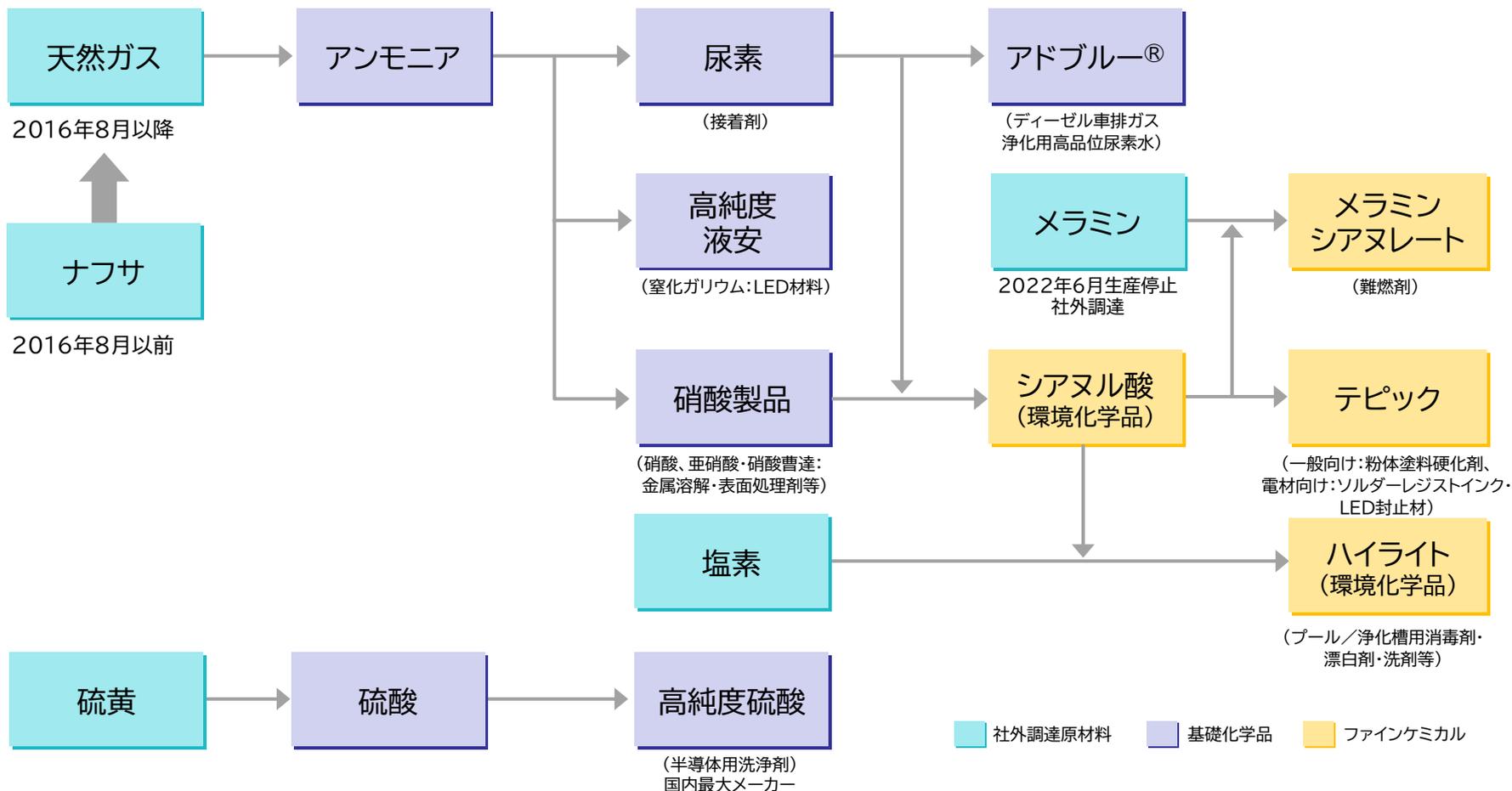
固定費等 【年間】増加2億円

【年間】増収・増益

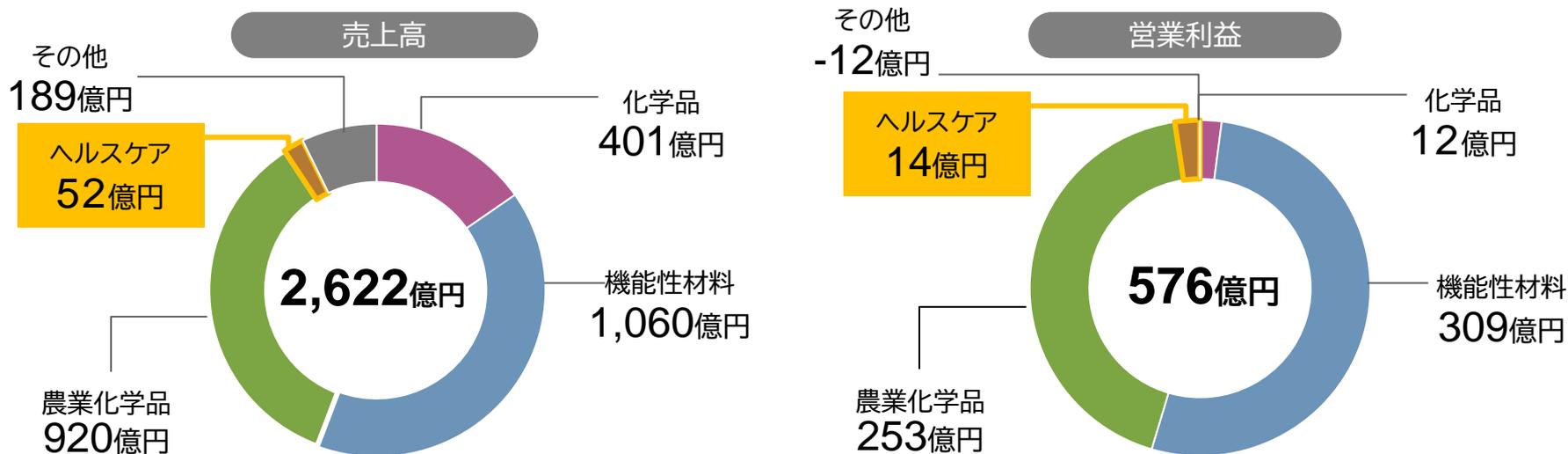
ファインケミカルは、環境化学品増収もテピック一般減収により、売上高はほぼ横ばい。中国競合品の影響による販売価格下落(減益要因)を、2024年度末の減損計上による固定費減少によって相殺し、利益横ばい

基礎化学品は、高純度硫酸(半導体需要増)や尿素・アドブルー®を中心とした数量増加、価格上昇により増収。固定費等増加も、増益

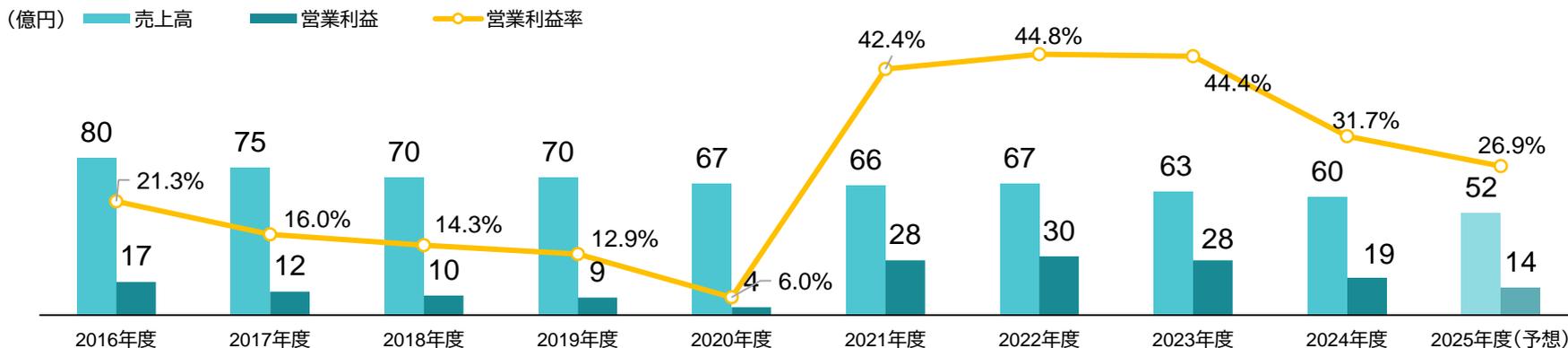
- 主要製品は、アンモニア系と硫酸系
- 2024年度アンモニア国内生産能力シェアはわずか11%
- 規模を追わず、高純度硫酸やテピックなどの高付加価値製品へ注力



2025年度セグメント別業績予想※1



ヘルスケアセグメント業績推移※1・2



※1 2025年度より新方式セグメント別営業利益(p62参照) ※2 2022年4月に組織改定を実施。2016~2020年度実績は旧セグメント区分

リバロ

2003年に興和から上市した高コレステロール血症治療薬。現在、世界30か国以上で販売中(当社が原薬を供給)

売上高(原薬販売)の推移	2020年度 ^{※2}	2021年度	2022年度	2023年度 ^{※3}	2024年度 ^{※4}	2025年度 予想
前年同期比増減率	-30%	-17%	0%	-5%	-18%	-13%
うち国内	+6%	+30%	-17%	-3%	-36%	-74%
うち海外	-35%	-28%	+7%	-6%	-12%	+2%
2012年度比増減率 ^{※1}	-73%	-78%	-78%	-79%	-83%	-85%

※1 2013年8月 国内物質特許満了。2012年度がリバロ売上高(国内外計)のピーク ※2 2020年8月 欧州で市場独占期間満了
 ※3 2023年11月 米国ジェネリック参入 ※4 2024年10月 国内で長期収載品に対する選定療養制度の開始

ファインテック

課題解決受託事業および共同開発型事業として、前臨床から商業生産まで新薬の原薬・中間体製造プロセス研究を受託
 特に近年は高活性・高付加価値ジェネリック原薬を中心に新規案件獲得に注力

■ 高付加価値ジェネリック原薬の販売状況

販売開始年度	原薬	用途
2016	マキサカルシトール	尋常性乾癬／二次性副甲状腺機能亢進症治療
2017	エルデカルシトール	骨粗しょう症治療

■ ファインテック売上高の推移 (2014～2025年度予想)

(億円)

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 予想
18	23	24	25	26	29	38	42	43	40	42	34

(億円)

	2023年度 実績					2024年度 実績					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	35	13	15	28	63	33	11	16	27	60	-2	-2	+1	-1	-3
ヘルスケア	13	6	4	10	23	8	5	5	10	18	-5	-1	+1	0	-5
ファインテック	23	7	10	17	40	25	6	11	17	42	+2	-1	+1	0	+2
営業利益	18	5	5	10	28	13	3	3	6	19	-5	-2	-2	-4	-9
ヘルスケア	6	2	2	3	9	1	1	2	3	4	-5	-1	0	0	-5
ファインテック	12	3	4	7	19	11	2	2	4	15	-1	-1	-2	-3	-4

※ 億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合算値が合わない場合がある

【下期】減収・減益

ファインテック固定費等増加により減益

【年間】減収・減益

ヘルスケア減収(リバロ国内・輸出とも減収、国内での長期収載品の選定療養制度の影響あり)、ファインテック固定費等増加により減益

(億円)

	2024年度 実績					2025年度 予想					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
売上高	15	18	33	27	60	15	11	26	26	52	0	-7	-7	-1	-8
ヘルスケア	3	5	8	10	18	5	4	9	9	18	+2	-1	+1	-1	0
ファインテック	12	13	25	17	42	11	6	17	17	34	-1	-7	-8	0	-8
営業利益	6	7	13	6	19	4	1	5	9	14	-2	-6	-8	+3	-5
ヘルスケア	0	1	1	3	4	1	0	1	2	3	+1	-1	0	-1	-1
ファインテック	6	5	11	4	15	3	0	3	8	11	-3	-5	-8	+4	-4

※1 億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合算値が合わない場合がある

【年間】減収・減益

リバロ減収(国内での長期収載品の選定療養制度の影響あり)、ファインテック減収(顧客在庫調整の影響あり)

Contents

01

2024年度通期 連結決算報告

P3

02

2025年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P16

04

Vista2027 Stage I、Stage II 概要

P44

05

ESGトピックス

P49

06

参考資料

P54

中期経営計画 Vista2027 Stage II (2025年度～2027年度)

(2025年5月発表)

損益および経営指標

	2024年度 実績	2025年度 予想	2027年度 中計	2027年度 旧中計
売上高	2,514	2,622	2,930	2,850
営業利益	568	576	650	670
経常利益	580	573	655	680
純利益※1	430	431	480	500
EBITDA※2	712	733	834	-
EPS(円/株)	313.26	319.43	366.28	371.67
自己資本比率	70.5%	-	71.9%	-
ネットD/Eレシオ※3	0.06倍	-	0.05倍	-

(経営指標)	2024年度 実績	2025年度～2027年度 中計	2027年度 旧中計
売上高営業利益率	22.6%	20%以上	20%以上
ROE	18.7%	18%以上	18%以上
配当性向	55.5%	55%以上	55%以上
総還元性向	82.0%	75%以上	75%以上

為替レート(円/ドル)	153	2025年度:145 2026～27年度:140
-------------	-----	-----------------------------

セグメント別売上高・営業利益

		2024年度 実績	2025年度 予想	2027年度 中計	2027年度 旧中計
化学品	売上高	378	401	437	401
	営業利益	2	12	24	39
機能性材料	売上高	1,001	1,060	1,224	1,172
	営業利益	290	309	342	380
農業化学品	売上高	862	920	975	823
	営業利益	256	253	259	210
ヘルスケア	売上高	60	52	64	115
	営業利益	19	14	24	43
卸売・その他・ 調整	売上高	213	189	230	339
	営業利益	1	-12	1	-2
企画本部※4	売上高	3	1	11	44
	営業利益	-47	-57	-50	-47
合計	売上高	2,514	2,622	2,930	2,850
	営業利益	568	576	650	670

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す ※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 ※3 ネットD/Eレシオ = (借入金、社債、CP - 現金預金) / 株主資本

※4 企画本部は卸売・その他・調整額の内数 ※5 2025年度より新方式セグメント営業利益(p62参照) ※6 Vista2027 Stage IIの中計数値に将来の戦略投資(M&A)による影響は含まない

2024年度実績と2027年度中計(2025年5月発表)の差異

(億円)

		2024年度 実績(A)	2027年度 中計(B)	差異 (B)-(A)	差異要因
化学品	売上高	378	437	+59	ファインケミカル 増収(+10%) 環境化学品、テピック(電材) 基礎化学品 増収(+18%) 高純度硫酸、硝酸製品、尿素・アドブルー®
	営業利益	2	24	+22	ファインケミカル・基礎化学品 増益 固定費等増加も、増収により増益
機能性材料	売上高	1,001	1,224	+223	ディ스플레이 増収(+3%) その他ディスプレイ材料、VA 半導体 増収(+38%) 多層材料、ARC®、三次元実装材料 無機コロイド 増収(+23%) スノーテックス、オイル&ガス材料
	営業利益	290	342	+52	半導体・無機コロイド 増益 固定費等増加も、半導体や無機コロイド増収により増益
農業化学品	売上高	862	975	+113	農薬 増収(+16%) ヘルダー、グレーシア、タルガ 動物薬 増収(+2%)
	営業利益	256	259	+3	売上高増収も、固定費等大幅増加により小幅増益
ヘルスケア	売上高	60	64	+4	ヘルスケア 減収(-19%) リバロ(輸出・国内) ファインテック 増収(+18%) ジェネリック原薬、新製品
	営業利益	19	24	+5	
卸売・ その他・ 調整額	売上高	213	230	+17	卸売・その他 増収
	営業利益	1	1	0	
合計	売上高	2,514	2,930	+416	
	営業利益	568	650	+82	

※1 2027年度中計(2025年5月発表)は新方式セグメント営業利益(p62参照)

2024年度 実績と中計(2022年5月発表)の差異

(億円)

		2024年度 中計(A)	2024年度 実績(B)	差異 (B)-(A)	差異要因
化学品	売上高	376	378	+2	ファインケミカル 下ぶれ(-10%) テピック(一般、電材) 基礎化学品 上ぶれ(+7%) 尿素・アドブルー®、硝酸製品
	営業利益	35	2	-33	ファインケミカル・基礎化学品下ぶれ 固定費等上ぶれ、原燃料コスト上ぶれ
機能性材料	売上高	1,029	1,001	-28	ディスプレイ 下ぶれ(-11%) ラビングIPS、VA、その他ディスプレイ材料
					半導体 下ぶれ(-1%) ARC®、多層材料
	営業利益	321	290	-31	無機コロイド 上ぶれ(+17%) スノーテックス、オルガノゾル・モノマーゾル ディスプレイ・半導体下ぶれ 市場調整により売上高下ぶれ(ディスプレイ・半導体)
農業化学品	売上高	778	862	+84	農薬 上ぶれ(+10%) グレーシア、パーミット 動物薬 上ぶれ(+14%)
	営業利益	217	256	+39	売上高上ぶれ
ヘルスケア	売上高	72	60	-12	ヘルスケア 上ぶれ(+15%) リバロ輸出 ファインテック 下ぶれ(-26%) ジェネリック原薬、新製品
	営業利益	21	19	-2	
卸売・ その他・ 調整額	売上高	295	213	-82	調整額 下ぶれ
	営業利益	-9	1	+10	卸売 上ぶれ+15、その他国内子会社 下ぶれ-4
合計	売上高	2,550	2,514	-36	
	営業利益	585	568	-17	

2027年度 中計(2025年5月発表)と旧中計(2022年5月発表)の差異

(億円)

		2027年度 旧中計(A)	2027年度 中計(B)	差異 (B)-(A)	差異要因
化学品	売上高	401	437	+36	ファインケミカル 下ぶれ(-13%) テピック(一般、電材) 基礎化学品 上ぶれ(+24%) 高純度硫酸、尿素・アドブルー®、硝酸製品
	営業利益	39	24	-15	ファインケミカル・基礎化学品下ぶれ 固定費等上ぶれ、原燃料コスト上ぶれ
機能性材料	売上高	1,172	1,224	+52	ディスプレイ 下ぶれ(-9%) その他ディスプレイ材料 半導体 上ぶれ(+8%) 多層材料、三次元実装材料、ARC® 無機コロイド 上ぶれ(+33%) スノーテックス、オイル&ガス材料
	営業利益	380	342	-38	ディスプレイ・半導体下ぶれ 固定費等上ぶれ
農業化学品	売上高	823	975	+152	農薬 上ぶれ(+16%) グレーシア、タルガ 動物薬 上ぶれ(+28%)
	営業利益	210	259	+49	売上高上ぶれ
ヘルスケア	売上高	115	64	-51	ヘルスケア 下ぶれ(-50%) 新製品 ファインテック 下ぶれ(-42%) ジェネリック原薬、新製品
	営業利益	43	24	-19	
卸売・ その他・ 調整額	売上高	339	230	-109	調整額 下ぶれ
	営業利益	-2	1	+3	卸売 上ぶれ+6、その他国内子会社 上ぶれ+7、調整額 下ぶれ-10(うち、企画本部-3)
合計	売上高	2,850	2,930	+80	
	営業利益	670	650	-20	

※1 2027年度中計(2025年5月発表)は新方式セグメント営業利益(p62参照)

Contents

01

2024年度通期 連結決算報告

P3

02

2025年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P16

04

Vista2027 Stage I、Stage II 概要

P44

05

ESGトピックス

P49

06

参考資料

P54

E

(環境)

S

(社会)

- 2021年4月 ダイバーシティステートメントおよびダイバーシティビジョンを設定
- 2022年5月 2050年にカーボンニュートラルへ
温室効果ガス(GHG)排出削減長期目標を設定(詳細はp53参照)
- 2022年6月 メラミン停止によるGHG削減(26千トン、2018年度実績の約7%に相当)
- 2022年6月 気候変動対策委員会設置
- 2024年9月 「[統合レポート2024](#)」を発行

G

(ガバナンス)

- 2019年4月 指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)
- 2019年6月 取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)
- 2022年6月 役員報酬体系にESG指標を組入れ(基本報酬65%、業績報酬28%、株式報酬7%
業績報酬28%のうち、利益連動部分90%、ESG連動部分10%)
- 2024年6月 女性取締役(社外)2名選任(再任)(取締役は計10名、うち社外4名)
- 2024年12月 「[コーポレートガバナンス報告書](#)」を更新

Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index

- 2024年12月
7年連続で構成銘柄に選定

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

- 2024年9月
6年連続で構成銘柄に選定



FTSE

- 2024年6月 FTSE4Good Index Series、FTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に5年連続選定
- 2024年6月 FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に3年連続選定

※ FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここに日産化学株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

MSCI

- 2023年6月 MSCI ESG格付け BBBからAへ格上げ
- 2024年1月 MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
構成銘柄に選定

※ MSCI指数への日産化学株式会社の組み入れ、および本ページにおけるMSCIロゴ、商標、サービスマーク、または指数名称の使用は、MSCIまたはその関係会社による日産化学株式会社の後援、保証、または販売促進ではありません。MSCI指数は、MSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCI指数の名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

**2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数**

健康経営優良法人 -ホワイト500-

- 2025年3月 9年連続認定



Morningstar

- 2024年12月 Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index 2年連続で構成銘柄に選定

外部イニシアティブへの参画



「子育てサポート企業」くるみん

- 2023年1月 2回連続認定



2027年の企業像実現のため、当社が取り組むべきマテリアリティ（重要課題）を特定
取り組みを推進することで社会とともに持続的な成長を目指す

▶▶▶1

人びとの暮らしに役立つ
新たな価値の提供

▶ 日産化学サステナブル
アジェンダ※1

社会課題解決に貢献する製品・
サービスの全売上に占める割合
60%以上

（55%以上維持より上方修正）

※1 社会課題解決に貢献する製品・サービスの提供により、
「地球と人の未来のためにできること」を追求する計画

▶▶▶2

自社事業基盤の強化

▶ 人材の確保・育成
人材育成に関する社員意識調査
肯定回答率
65%以上

▶ ダイバーシティ推進
研究所女性総合職比率 **18%以上**

▶▶▶3

レスポンシブル・ケア活動の
継続的強化

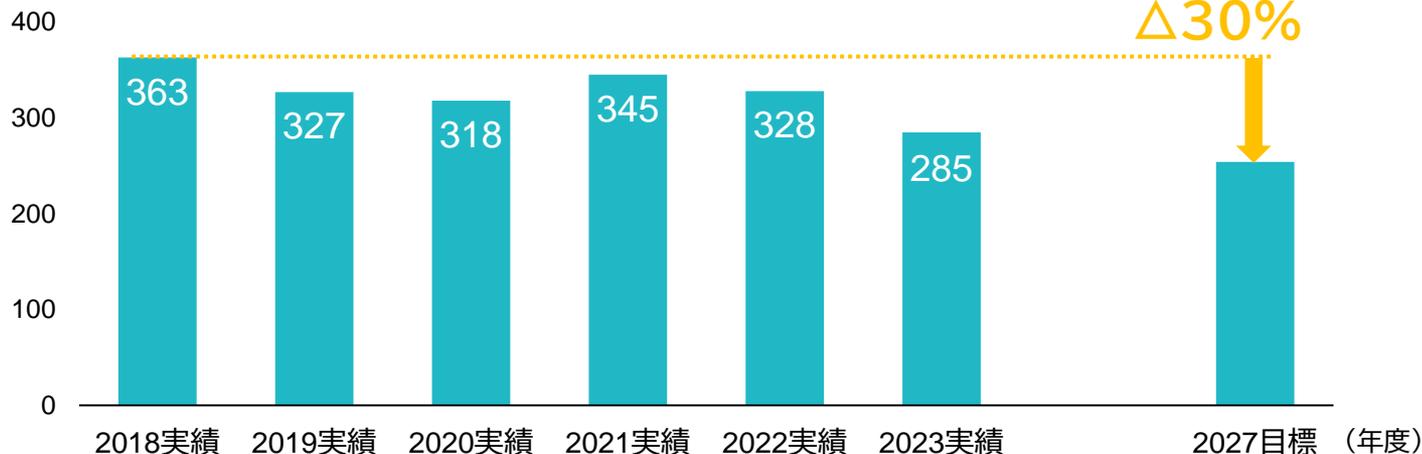
▶ GHG排出削減目標
2018年度比 **30%以上削減**

当社グループの最重要課題

コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスの強化

- 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、従来の取り組みに加え、生産技術の改善や再生エネルギー導入などに注力する
- GHG排出量2027年度目標:2018年度比30%削減(SCOPE1+2)

(千トン-CO₂e)



他社とのGHG排出量の比較

(千トン-CO₂e)

年度	2011	2018	2019	2020	2021	2022	2023
日産化学(単体ベース)	448	363	327	318	345	328	285
大手総合化学4社平均(連結ベース)	-	-	9,275	8,928	9,226	8,390	7,863

中期経営計画 Vista2027 (2022-2027年度)における取り組み

- 硝酸プラントからのN₂O排出ゼロ (予定投資額 830百万円 変動費 70百万円/年)
- メラミン製造中止
- 小野田工場燃料転換
- ICP本格導入によるGHG排出削減推進
- フロン機器の削減
- 省エネ機器への更新

Contents

01

2024年度通期 連結決算報告

P3

02

2025年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P16

04

Vista2027 Stage I、Stage II 概要

P44

05

ESGトピックス

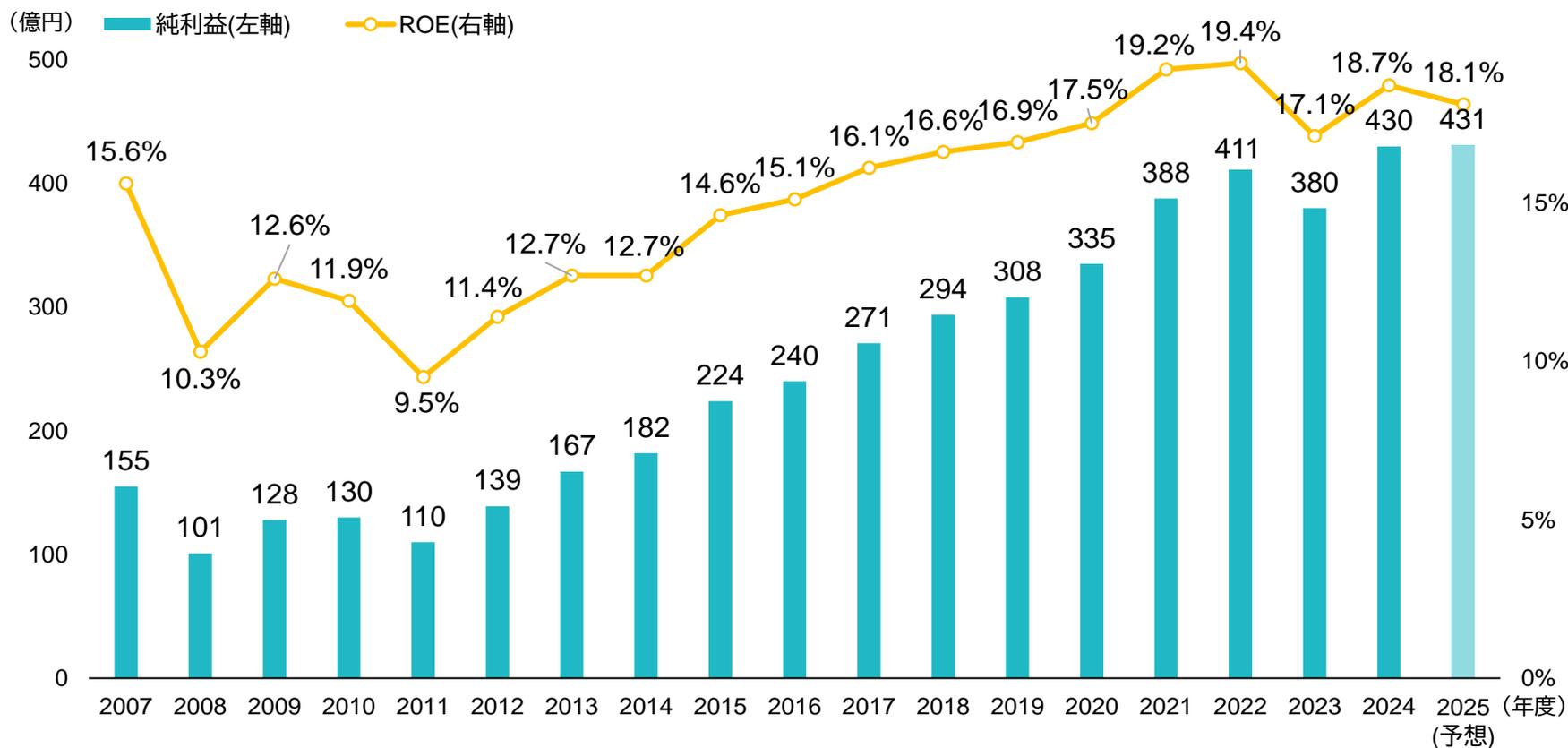
P49

06

参考資料

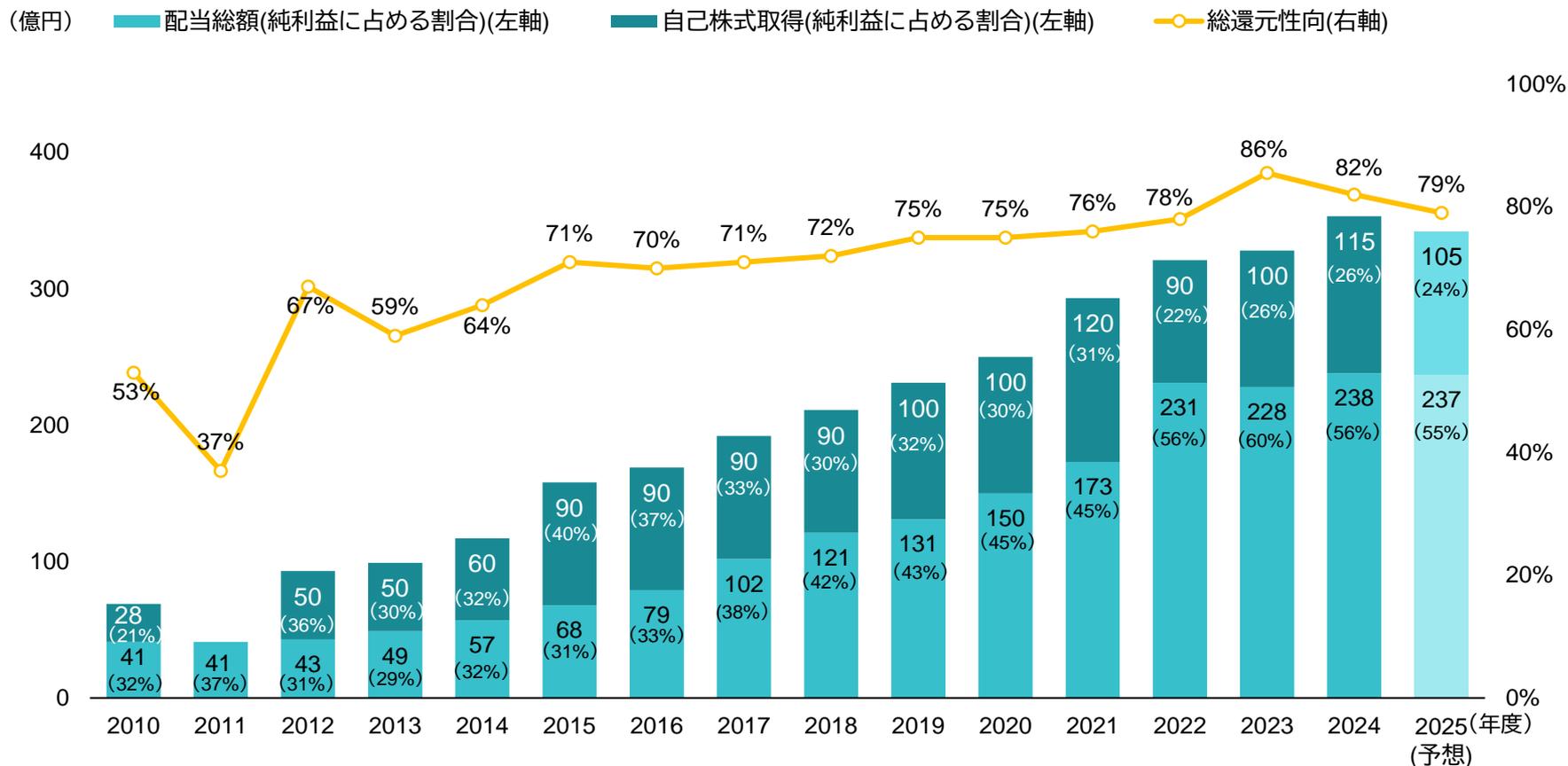
P54

- ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- 中期経営計画(2025-2027年度)では18%以上が目標
- 2024年度実績は18.7%

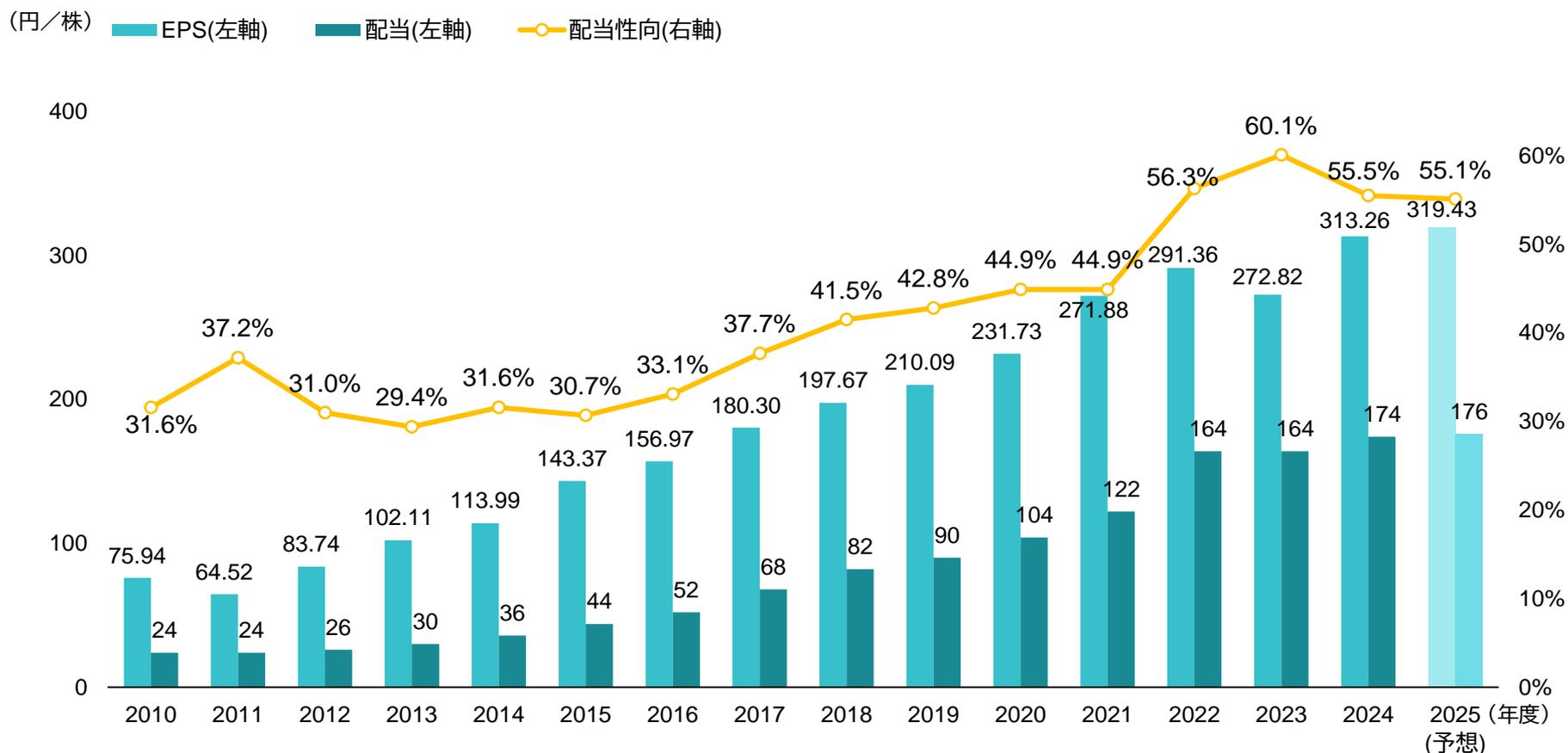


株主還元 総還元性向

- 中期経営計画(2025-2027年度)では75%以上が目標
- 2024年度実績は82.0%



- 2022年5月発表の中期経営計画Stage I (2022-2024年度)から45%から55%以上へ引き上げ
- 現行の中期経営計画(2025-2027年度)では引き続き55%以上が目標
- 安定的・継続的な配当方針とし、2023年度は前年比減益だが配当は同額を維持(164円/株)
- 2024年度の配当は174円/株、2025年度の配当予想は176円/株と、2年連続増配を見込む



- ROE向上を目的に2006年度より開始
- 2006-24年度取得総額1,350億円、5,010万株(取得開始前発行済株式の26.7%)
- 取得株はすべて消却済み
- 今後も自己株式を継続的に取得し、株主還元を強化
- 2025年度は4月に15億円取得終了、今回新たに90億円の取得を発表(取得期間は2026年3月まで)

2006-2024年度 自己株式取得実績(2009年度、2011年度は自己株式取得なし)

年度	2006	2007	2008	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計
自己株式取得総数(千株) ^{※1}	3,500	3,399	7,355	2,167	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	2,138	1,829	2,033	1,356	1,665	2,335	50,104
取得価額総額(億円) ^{※1}	47	50	80	28	50	50	60	90	90	90	90	100	100	120	90	100	115	1,350
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	3,000	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	3,000	1,000	2,000	1,700	2,500	2,000	50,835
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	171	165	161	158	156	154	151	149	146	145	143	141	139	137	-
期末自己株式数(千株) ^{※2}	1,367	1,233	1,660	885	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	523	1,352	1,384	1,029	187	518	-
株主総還元性向 (配当+自己株式取得) (%)	60	56	118	53	67	59	64	71	70	71	72	75	75	76	78	86	82	-

2020-2025年度 自己株式取得・消却状況

年度	2020			2021			2022			2023			2024 ^{※3}			2025予想 ^{※4}
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	年間
自己株式取得総数(千株) ^{※1}	1,334	495	1,829	1,262	771	2,033	683	673	1,356	805	860	1,665	1,061	1,274	2,335	2,865(上限)
取得価額総額(億円) ^{※1}	70	30	100	70	50	120	50	40	90	50	50	100	50	65	115	105(上限)
自己株式消却総数(千株) ^{※3}	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000	1,700	0	1,700	1,500	1,000	2,500	1,000	1,000	2,000	-

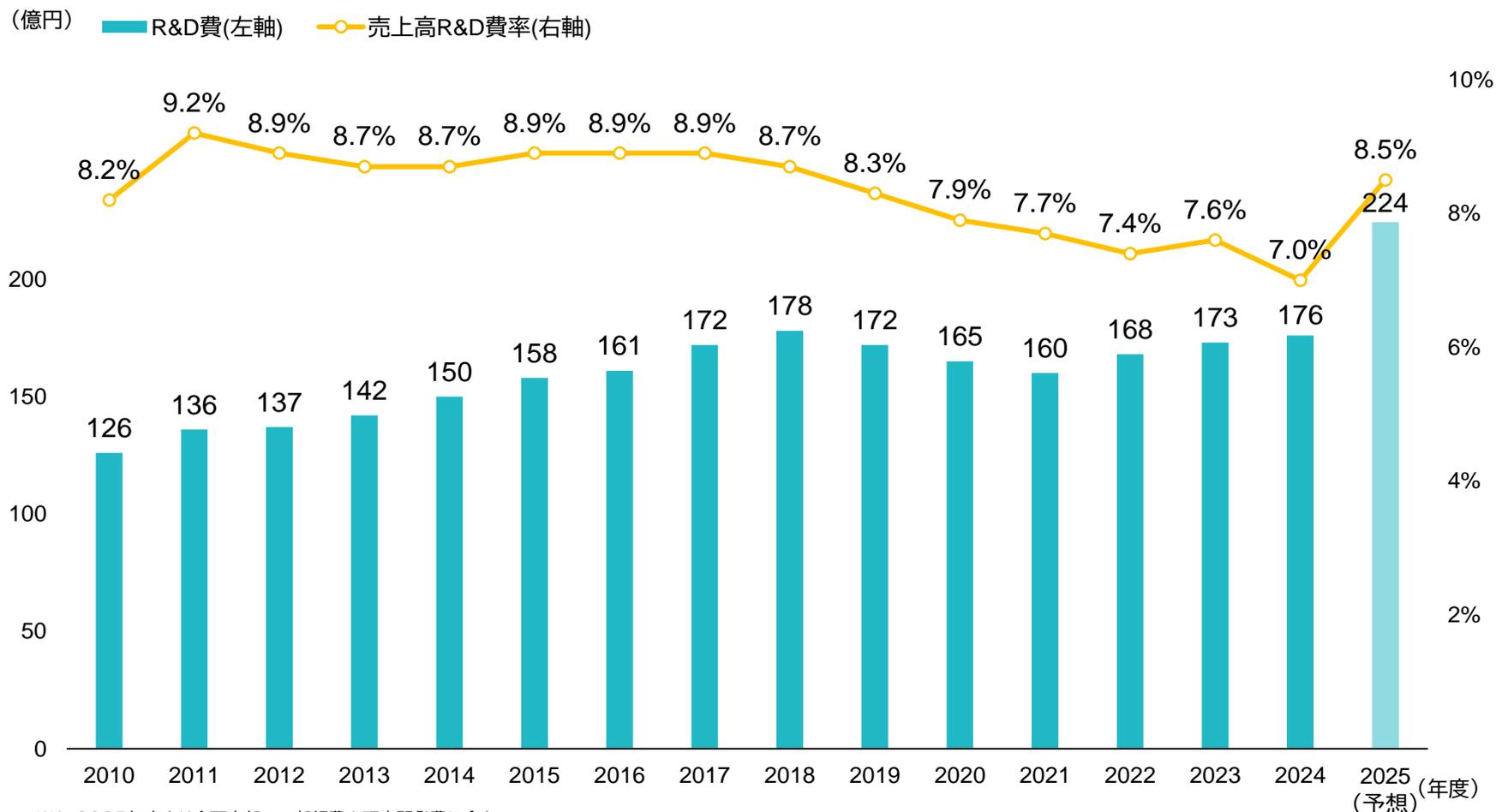
※1 単元未満株式買取、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得を除く ※2 単元未満株式、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得を含む
 ※3 2024年度の自己株式消却は、2024年9月9日、および2025年3月12日消却分 ※4 2025予想の自己株式取得105億円のうち、15億円は2025年4月に取得済み

キャッシュマネジメント(単体ベース)

目標現預金残高水準 = 必要下限額 + 流動性リスク対応 [1/3×(長期借入金年間返済予定額 + 短期借入残)] + 偶発リスク対応

研究開発費の推移

- 研究開発費は半導体を中心とした機能性材料と農業化学品にて増加基調
- 売上高研究開発費率は7-9%と高水準を維持

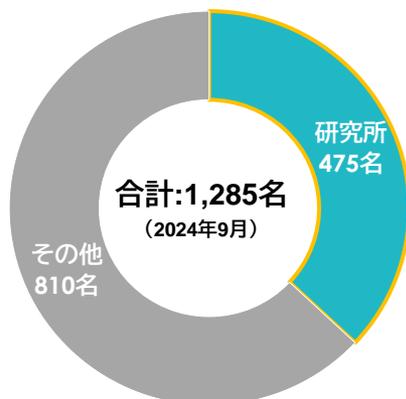


- R&Dに多額の投資を行ってもなお、会社全体で高い営業利益率を確保
- 総合職の約40%は研究開発に関わる人材

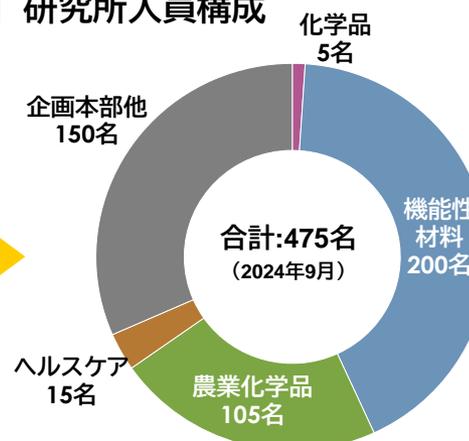
セグメント別研究開発費

セグメント	2024年度 実績				
	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率
化学品	378	2	0.5%	3	0.8%
機能性材料	1,001	290	29.0%	83	8.3%
農業化学品	862	256	29.7%	45	5.2%
ヘルスケア	60	19	31.7%	6	10.0%
企画本部他	-	-	-	39	-
合計(企画本部他含む)	2,514	568	22.6%	176	7.0%

総合職 人員構成



セグメント別 研究所人員構成



※ 表記している人数は概数

長期業績推移

(億円)

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025 (予想)
売上高	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,080	2,281	2,267	2,514	2,622
営業利益	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	510	523	482	568	576
経常利益	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	439	537	558	516	580	573
純利益	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	335	388	411	380	430	431
EBITDA	305	345	276	301	303	259	291	308	338	383	403	455	480	492	530	612	633	620	712	733
売上高営業利益率	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	24.5%	22.9%	21.3%	22.6%	22.0%
ROE	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	17.5%	19.2%	19.4%	17.1%	18.7%	18.1%
EPS(円/株)	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	231.73	271.88	291.36	272.82	313.26	319.43
配当(円/株)	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	104	122	164	164	174	176
配当性向	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	44.9%	44.9%	56.3%	60.1%	55.5%	55.1%
自己株式取得	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100	100	120	90	100	115	-
総資産	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	2,655	2,797	2,987	3,235	3,308	-
純資産	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	2,006	2,080	2,215	2,309	2,362	-
現預金	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	306	324	347	296	227	275	-
有利子負債	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	246	227	227	273	410	405	-
自己資本比率	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	74.9%	73.6%	73.1%	70.3%	70.5%	-
設備投資	77	138	107	144	87	89	81	91	87	95	135	144	99	155	143	124	194	202	176	215
減価償却費	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	105	104	102	110	138	144	162
R&D	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	165	160	168	173	176	224
同 売上高比率	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	7.9%	7.7%	7.4%	7.6%	7.0%	8.5%

※ 2021- :会計方針の変更影響を含む
 ※ 2025- :新方式セグメント別営業利益(p62参照)
 ※ 2025- :企画本部の一部経費を研究開発費に含む
 ※ 設備投資:キャッシュ・フローベース

セグメント別売上高・営業利益推移

売上高(A)

(億円)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025 (予想)
化学品	355	343	343	348	349	357	343	319	376	390	356	378	401
機能性材料	428	494	518	528	588	630	655	716	817	826	846	1,001	1,060
農業化学品	391	457	475	520	581	627	640	638	658	816	821	862	920
ヘルスケア	116	88	87	80	75	70	70	67	66	67	63	60	52
卸売	507	544	556	552	595	679	679	698	804	991	1,038	1,172	1,210
その他	214	209	209	240	215	246	224	238	236	264	301	292	315
調整額	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-585	-877	-1,073	-1,158	-1,251	-1,336
合計	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,080	2,281	2,267	2,514	2,622

営業利益(B)

化学品	19	19	39	38	34	30	13	15	38	14	0	2	12
機能性材料	88	120	120	125	142	150	170	224	276	254	225	290	309
農業化学品	62	92	108	132	164	184	193	182	181	231	234	256	253
ヘルスケア	49	23	20	17	12	10	9	4	28	30	28	19	14
卸売	15	17	18	17	18	20	21	25	29	37	37	41	34
その他	8	6	5	10	6	9	7	8	7	9	6	6	12
調整額	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-33	-49	-52	-48	-46	-58
合計	222	253	286	314	350	371	386	425	510	523	482	568	576

セグメント資産 (2024年度)(D)

化学品	338
機能性材料	664
農業化学品	1,157
ヘルスケア	86
卸売	447
その他	206
調整額	410
合計	3,308

営業利益率(B)/(A)

化学品	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	4.7%	10.1%	3.6%	0.1%	0.5%	3.0%
機能性材料	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	31.3%	33.8%	30.8%	26.6%	29.0%	29.2%
農業化学品	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.5%	27.5%	28.3%	28.5%	29.7%	27.5%
ヘルスケア	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	6.0%	42.4%	44.8%	44.4%	31.7%	26.9%
卸売	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	3.6%	3.6%	3.7%	3.6%	3.5%	2.8%
その他	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	3.4%	3.0%	3.4%	2.0%	2.1%	3.8%
合計	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	24.5%	22.9%	21.3%	22.6%	22.0%

ROA(2024年度) (B)/(D)

化学品	0.6%
機能性材料	43.7%
農業化学品	22.1%
ヘルスケア	22.1%
卸売	9.2%
その他	2.9%
合計	17.2%

- ※ 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む
- ※ 2021- : 会計方針の変更による売上高減少を含む
- ※ 卸売: 日星産業、その他: 日産物流、日産緑化、日産エンジニアリング、NC東京ベイ、NCアグロ函館・日本ポリテック(2024年度より連結子会社化)、日本肥糧、調整額: 企画本部ほか
- ※ 企画本部の2024年度実績値、2025年度予想数値はp45参照
- ※ 2022年4月に組織改定を実施。2020年度実績までは旧セグメント区分

- ※ 2019- : 連結調整(固定資産未実現利益、棚卸資産未実現利益など)は、2018以前は各セグメントに配賦していたが、2019以降は調整額で一括処理
- ※ 2025- : 新方式セグメント別営業利益
 - 2025年度より変更(売上高は変更なし)
 - DX費用および企画本部の一部費用について、旧方式では各セグメントに配賦していたが、新方式では各セグメントに配賦せず調整額で一括処理

セグメント別売上高 四半期推移(2022年度～2025年度業績予想)

(億円)

	2022年度 実績					2023年度 実績					2024年度 実績					2025年度 予想				2024年度 予想 (2025年2月発表)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	下期	年間	4Q	年間
化学品	104	94	101	91	390	91	88	96	81	356	89	90	102	97	378	94	97	210	401	104	385
ファインケミカル	42	35	33	28	138	30	30	30	26	116	31	32	34	32	129	31	33	66	130	33	130
基礎化学品	62	59	68	63	252	61	58	66	55	240	58	58	68	65	249	63	64	144	271	71	255
機能性材料	218	202	206	200	826	208	197	214	227	846	235	251	256	259	1,001	257	263	540	1,060	232	974
農業化学品	197	160	131	328	816	188	165	132	336	821	204	188	146	324	862	232	155	533	920	325	863
ヘルスケア	17	15	16	19	67	20	15	13	15	63	15	18	11	16	60	15	11	26	52	18	62
ヘルスケア	8	6	4	6	24	6	7	6	4	23	3	5	5	5	18	5	4	9	18	3	16
ファインテック	8	10	12	13	43	13	9	7	10	40	12	13	6	11	42	11	6	17	34	15	46
卸売	237	240	270	244	991	243	245	283	267	1,038	275	288	308	301	1,172	283	283	644	1,210	253	1,124
その他	65	59	67	73	264	64	59	60	118	301	63	57	88	84	292	77	69	169	315	83	291
調整額	-255	-258	-294	-266	-1,073	-265	-261	-302	-330	-1,158	-294	-297	-345	-315	-1,251	-308	-309	-719	-1,336	-287	-1,223
合計	583	512	497	689	2,281	549	508	496	714	2,267	587	595	566	766	2,514	650	569	1,403	2,622	728	2,476

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流、日産緑化、日産エンジニアリング、NC東京ベイ、NCアグロ函館・日本ポリテック(2024年度より連結子会社化)、日本肥糧、調整額：企画本部ほか

※ 2025年度より新方式セグメント別営業利益(p62参照)

セグメント別営業利益 四半期推移(2022年度～2025年度業績予想)

(億円)

	2022年度 実績					2023年度 実績					2024年度 実績					2025年度 予想				2024年度 予想 (2025年2月発表)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	下期	年間	4Q	年間
化学品	17	-6	4	-1	14	9	-10	4	-3	0	7	-11	5	1	2	8	-6	10	12	0	1
機能性材料	79	60	69	46	254	65	46	63	51	225	70	74	79	67	290	83	80	146	309	60	283
農業化学品	68	53	31	79	231	66	50	29	89	234	69	73	37	77	256	76	41	136	253	78	257
ヘルスケア	8	7	6	9	30	11	7	5	5	28	6	7	3	3	19	4	1	9	14	7	23
ヘルスケア	4	2	1	2	9	3	3	2	2	9	0	1	1	2	4	1	0	2	3	1	3
ファインテック	4	5	6	7	21	8	4	3	4	19	6	5	2	2	15	3	0	8	11	7	20
卸売	10	9	10	8	37	9	9	10	9	37	10	10	11	10	41	8	8	18	34	6	37
その他	1	0	2	6	9	2	0	-3	7	6	1	-1	1	5	6	3	2	7	12	7	8
調整額	-10	-14	-16	-12	-52	-12	-11	-15	-10	-48	-19	-13	-8	-6	-46	-11	-14	-33	-58	-19	-59
合計	173	109	106	135	523	150	91	93	148	482	144	139	128	157	568	171	112	293	576	139	550

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流、日産緑化、日産エンジニアリング、NC東京ベイ、NCアグロ函館・日本ポリテック(2024年度より連結子会社化)、日本肥糧、調整額：企画本部ほか

※ 2025年度より新方式セグメント別営業利益(p62参照)

セグメント		製品名	主用途
化学品	ファインケミカル	テピック	エポキシ樹脂: ソルダレジストインク材料、LED封止材等、粉体塗料硬化剤
		メラミンシアヌレート	難燃剤
		環境化学品	プール、浄化槽用殺菌消毒剤
	基礎化学品	ファインオキシコール	化粧品原料、潤滑油原料、電子材料用接着剤原料
		メラミン(22年12月販売終了)	接着剤
		アドブルー®	ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水
		高純度硫酸	半導体用洗浄剤
	アンモニア、硫酸、硝酸、尿素		
機能性材料	ディスプレイ	サンエパー	液晶配向材用ポリイミド
		(主要モード) VA	Vertical Alignment: テレビ
		IPS	In-Plane Switching: スマートフォン、タブレット、PC、モニター、車載
	半導体	ARC®(KrF, ArF)	半導体用反射防止コーティング材
		多層材料(OptiStack®)	半導体用多層プロセス材料(Si-HM, SOC)
		EUV材料	EUVプロセス材料(下層膜、Si-HM)
		三次元実装材料	半導体用仮貼り合せ材
	無機コロイド	スノーテックス	コロイダルシリカ: 研磨剤(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)、特殊鋼板
		オルガノゾル・モノマーゾル	有機溶媒・モノマー分散シリカゾル: フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤
		オイル&ガス材料	シェールオイル・ガス採掘効率向上材
農業化学品	除草剤	タルガ	大豆、なたね、てんさい
		パーミット	とうもろこし、さとうきび、稲
		ラウンドアップ	非選択性茎葉処理除草剤: 非農耕地、果樹園
		アルテア	稲
		ベルダー	稲
	殺虫剤	グレーシア	野菜、茶、果樹
	殺菌剤	ライメイ	ばれいしょ、野菜、ブドウ
		ダイセン(マンゼブ)	果樹、野菜
	動物医薬品	フルララネル	ペット用外部・内外部寄生虫薬BRAVECTO®、鶏・牛・羊用EXZOLT®原薬
	ヘルスケア	リバロ原薬	高コレステロール血症治療薬
ファインテック		課題解決型受託事業および共同開発型事業	

※ アドブルー®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標 ※ ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標
 ※ BRAVECTO®およびEXZOLT®はMAH の登録商標

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。

本決算説明資料に掲載されている全てのコンテンツは、日産化学株式会社が所有しています。
